

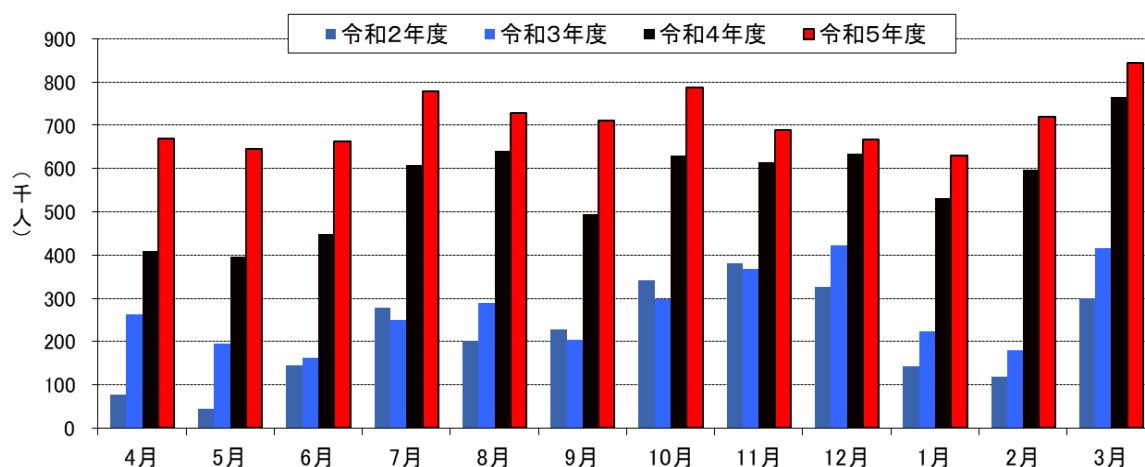
# 令和5年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課  
令和6年4月発表（令和6年6月確定値に更新）

**令和5年度 853万2,600人**  
**対前年度(R4)比 +175万8,000人、+25.9%**  
**～年度では過去5番目、増加数は過去2番目～**  
**※過去最高年度(H30)比 Δ147万1,700人、Δ14.7%**

## 入域観光客数（国内+外国）

### ■月別入域観光客数の推移（令和2年度～令和5年度）



### ■令和5年度入域観光客の状況（令和4年度・平成30年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	669.8	645.2	663.4	778.8	728.6	710.1	788.3	688.2	666.7	629.2	719.2	845.1	8,532.6
令和4年度	409.0	396.8	448.5	607.8	640.8	494.7	630.7	615.0	635.0	532.2	597.9	766.2	6,774.6
増減数	260.8	248.4	214.9	171.0	87.8	215.4	157.6	73.2	31.7	97.0	121.3	78.9	1,758.0
増減率	63.8%	62.6%	47.9%	28.1%	13.7%	43.5%	25.0%	11.9%	5.0%	18.2%	20.3%	10.3%	25.9%
平成30年度	833.2	830.9	809.7	885.8	1041.5	801.5	849.3	795.2	747.5	753.5	772.2	884.0	10,004.3
増減数	-163.4	-185.7	-146.3	-107.0	-312.9	-91.4	-61.0	-107.0	-80.8	-124.3	-53.0	-38.9	-1,471.7
増減率	-19.6%	-22.3%	-18.1%	-12.1%	-30.0%	-11.4%	-7.2%	-13.5%	-10.8%	-16.5%	-6.9%	-4.4%	-14.7%

### ■令和5年度の概況（総括）

令和5年度の入域観光客数は853万2,600人となり、対前年比で175万8,000人増（25.9%増）と、増加数では令和4年度に次いで過去2番目となった。また、これまで最多を記録した平成30年度に対して85.3%の水準まで回復し、過去5番目となった。

令和5年度は、全国旅行支援等の需要喚起策や修学旅行等の回復を受けて、国内観光客が回復したほか、外国人観光客についても、国際航空路線やクルーズ船の再開に応じて段階的に回復してきた。

令和6年度については、当面の間、回復基調が維持されると見込まれるものの、今後とも円安や物価高等による影響を注視していく必要がある。

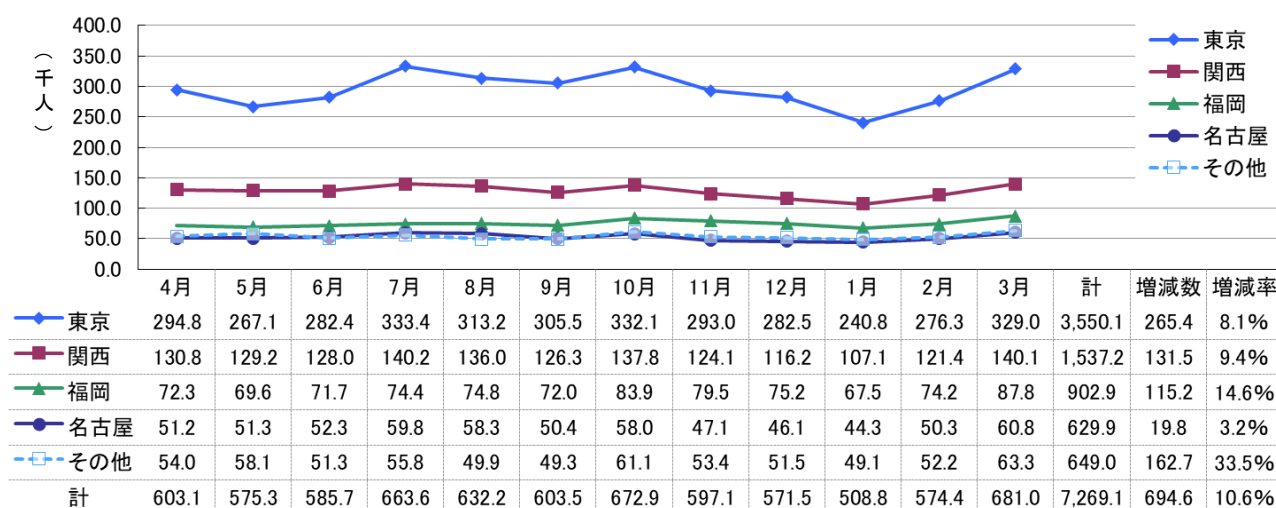
## 国内観光客についての動向

### ■令和5年度国内観光客の状況（令和4年度・平成30年度との比較）

(千人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	603.1	575.3	585.7	663.6	632.2	603.5	672.9	597.1	571.5	508.8	574.4	681.0	7,269.1
令和4年度	409.0	396.8	448.5	607.8	640.7	494.7	628.0	602.9	602.2	487.4	554.5	702.0	6,574.5
増減数	194.1	178.5	137.2	55.8	-8.5	108.8	44.9	-5.8	-30.7	21.4	19.9	-21.0	694.6
増減率	47.5%	45.0%	30.6%	9.2%	-1.3%	22.0%	7.1%	-1.0%	-5.1%	4.4%	3.6%	-3.0%	10.6%
平成30年度	556.4	514.6	534.6	595.0	741.5	571.0	602.8	604.1	570.3	523.7	532.1	657.4	7,003.5
増減数	46.7	60.7	51.1	68.6	-109.3	32.5	70.1	-7.0	1.2	-14.9	42.3	23.6	265.6
増減率	8.4%	11.8%	9.6%	11.5%	-14.7%	5.7%	11.6%	-1.2%	0.2%	-2.8%	7.9%	3.6%	3.8%

### ■国内観光客の状況（方面別の月別推移）



### 【方面別の動向】

東京方面 新型コロナの「5類感染症」移行や全国旅行支援等の需要喚起策のほか、夏休み、年末年始等の増便・臨時便等により、前年度を上回った。

関西方面 新型コロナの「5類感染症」移行や全国旅行支援等の需要喚起策のほか、夏休み、年末年始等の増便・臨時便等、神戸発クルーズ船の寄港により、前年度を上回った。

福岡方面 新型コロナの「5類感染症」移行や全国旅行支援等の需要喚起策のほか、夏休み中の福岡一下地島路線就航等により、前年度を上回った。

名古屋方面 新型コロナの「5類感染症」移行や全国旅行支援等の需要喚起策のほか、夏休み、年末年始等の季節運航等で前年度を上回ったが、年度途中の名古屋－石垣便運休等により、前年度からの増加率は他方面に比べて小さかった。

### ■国内観光客の概況

令和5年度は、5月8日に新型コロナが「5類感染症」に移行し、県内イベントが通常開催されたほか、全国旅行支援等の需要喚起策により、旺盛となった国内の旅行需要を取り込むことができたこと、また、修学旅行等の需要回復、FIBAバスケットボールワールドカップ沖縄開催等もあり、これまで最多であった平成30年度を上回り、過去最多となった。

令和6年度は、コロナ禍を経て高揚した旅行マインドが一旦落ち着くことが見込まれるものの、デフバレーボール世界選手権大会や沖縄空手少年少女世界大会等の大型イベントの開催、複数のフライ&クルーズが予定されていること等から、堅調に推移すると見込まれる。

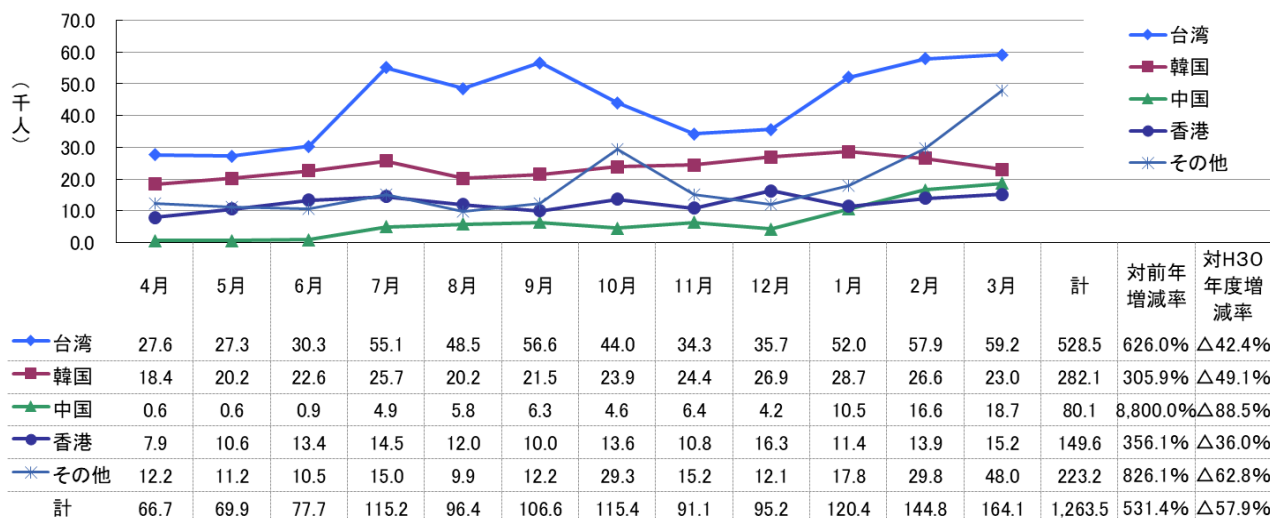
## 外国人観光客についての動向

### ■令和5年度外国人観光客の状況（令和4年度・平成30年度との比較）

(千人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	66.7	69.9	77.7	115.2	96.4	106.6	115.4	91.1	95.2	120.4	144.8	164.1	1,263.5
令和4年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	2.7	12.1	32.8	44.8	43.4	64.2	200.1
増減数	66.7	69.9	77.7	115.2	96.3	106.6	112.7	79.0	62.4	75.6	101.4	99.9	1,063.4
増減率	—	—	—	—	96300.0%	—	4174.1%	652.9%	190.2%	168.8%	233.6%	155.6%	531.4%
平成30年度	276.8	316.3	275.1	290.8	300.0	230.5	246.5	191.1	177.2	229.8	240.1	226.6	3,000.8
増減数	-210.1	-246.4	-197.4	-175.6	-203.6	-123.9	-131.1	-100.0	-82.0	-109.4	-95.3	-62.5	-1,737.3
増減率	-75.9%	-77.9%	-71.8%	-60.4%	-67.9%	-53.8%	-53.2%	-52.3%	-46.3%	-47.6%	-39.7%	-27.6%	-57.9%

### ■外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



### 【市場別の動向】

**台湾** 航空路線では、那覇-台北路線の増便や那覇-高雄路線の再開、チャーター便運航があったほか、基隆、高雄発クルーズ船が多数寄港したこと等により、平成30年度の57.6%の水準まで回復した。

**韓国** 航空路線では、那覇-仁川路線の臨時便、那覇-済州チャーター便運航があったほか、クルーズ船の寄港が再開したこと等により、平成30年度の50.9%の水準まで回復した。

**中国本土** 航空路線では、7月に那覇-上海路線、9月に那覇-北京路線が再開したほか、8月からクルーズ船の寄港が再開したものの、平成30年度の11.5%の水準にとどまった。

**香港** 航空路線では、5月に那覇-香港便の増便があったほか、10月からクルーズ船の寄港が再開したこと等により、平成30年度の64.0%の水準まで回復した。

### ■外国人観光客の概況

令和5年度は、令和4年10月に水際対策が大幅に緩和されて以降、航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで、増加数が過去最多で、過去6番目となった。

空路客については、一部航空路線の運休があるものの平成30年度の52.8%に、海路客は平成30年度の26.0%まで回復した。

令和6年度は、航空路線において那覇-釜山便の再開(3/31～)、那覇-バンコク便の新規就航(4/2～)、下地-仁川便の新規就航(5/29～)があること、クルーズ船寄港スケジュールが令和5年度を上回ること、円安による効果も期待できること等から、さらなる回復が見込まれる。

# 令和5年(2023)4月 入域観光客数概況(確定版)

66万9,800人  
 対前年(R4)同月比 +26万800人、+63.8%  
 ~4月としては復帰後5番目、対前年同月比で17ヶ月連続の増加~  
 ※(H31年度)同月比 ▲18万1,600人、▲21.3%

- 【更新履歴】①令和5年5月25日速報版公表  
 ②令和5年7月25日確定版公表
- ※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、7月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。
  - ※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

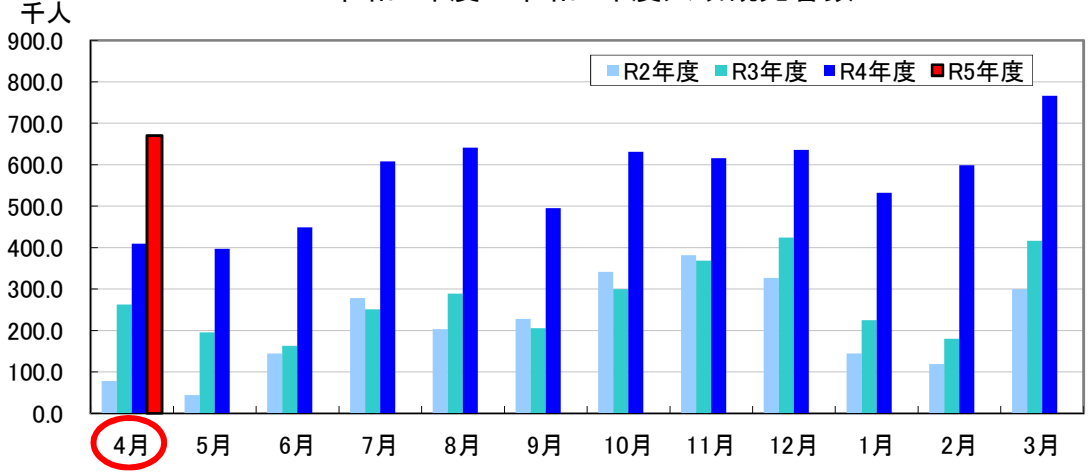
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	603,100 人	409,000 人	+ 194,100 人	+ 47.5%	90.0%
外国客	66,700 人	0 人	+ 66,700 人	皆増	10.0%
合計	669,800 人	409,000 人	+ 260,800 人	+ 63.8%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等2,700人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

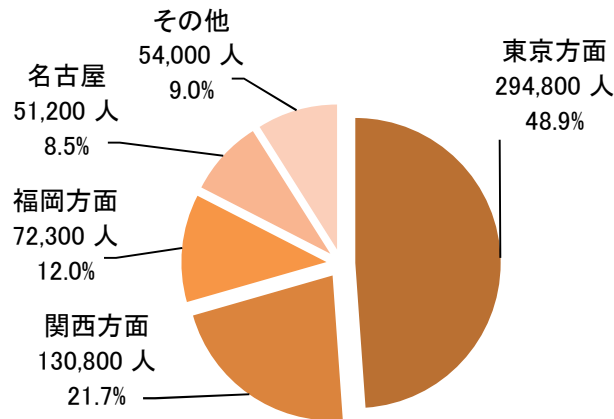
4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し、大型イベントの開催、春休み及びゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の臨時便・季節運航等(東京方面、名古屋等)により、前年同月比で194,100人の増(47.5%増)となった。特に、東京・関西方面については、コロナ禍前の平成31年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,800 人	205,900 人	+ 88,900 人	+ 43.2%	48.9%
関西方面	130,800 人	86,200 人	+ 44,600 人	+ 51.7%	21.7%
福岡方面	72,300 人	51,800 人	+ 20,500 人	+ 39.6%	12.0%
名古屋	51,200 人	38,400 人	+ 12,800 人	+ 33.3%	8.5%
その他	54,000 人	26,700 人	+ 27,300 人	+ 102.2%	9.0%
合計	603,100 人	409,000 人	+ 194,100 人	+ 47.5%	100.0%

※国内海路客1,400人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押しのほか、航空会社による臨時便等により、前年同月及びコロナ禍前の平成31年度同月を上回った。

### 関西

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し等により、前年同月の1.5倍の水準となった。また、コロナ禍前の平成31年度同月を上回った。

### 福岡

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し等により、前年同月を上回った。

### 名古屋

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押しのほか、春休み及びゴールデンウィーク期間中の季節運航等により、前年同月を上回った。

## 外国客 入域状況

4月は、一部航空路線の運休が継続しているものの、清明節などの連休に伴う旅行需要、4年ぶりとなるクイーンエリザベスの寄港等があり、外国客数は堅調に推移した。

4月28日に新型コロナに係る水際対策が終了し、航空路線においては、那覇－香港増便(5/10～)、那覇－済州のチャーター便(5/12～14、19～21)、那覇－上海便再開(7/1～)、那覇－タイのチャーター便の期間延長(10月まで)などの拡充があり、段階的な回復が期待される。

- トピック**
- ▶ 「日本で一番早い夏の大花火」として4年ぶりに4月に開催された琉球海炎祭(宜野湾市)には、台湾を中心に多くの外国人観光客が来訪
  - ▶ 東アジア各地で日本のアニメ映画「THE FIRST SLAM DUNK」が大ヒットを記録し、主人公の出身地である沖縄県のシーンも多く描かれたことから、沖縄方面への夏休み旅行人気への後押しが期待される。
  - ▶ 【台湾】児童節・清明節を含む5連休(4/1～5)の沖縄県内リゾートホテル滞在ツアー商品が好調
  - ▶ 【台湾・韓国・香港】夏の沖縄向け割引航空券、ツアー商品の販売を開始

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	27,600人	0人	+ 27,600人	皆増	41.4%
韓国	18,400人	0人	+ 18,400人	皆増	27.6%
中国本土	600人	0人	+ 600人	皆増	0.9%
香港	7,900人	0人	+ 7,900人	皆増	11.8%
アメリカ	3,000人	0人	+ 3,000人	皆増	4.5%
タイ	1,800人	0人	+ 1,800人	皆増	2.7%
シンガポール	300人	0人	+ 300人	皆増	0.4%
その他	7,100人	0人	+ 7,100人	皆増	10.6%
合計	66,700人	0人	+ 66,700人	皆増	100.0%

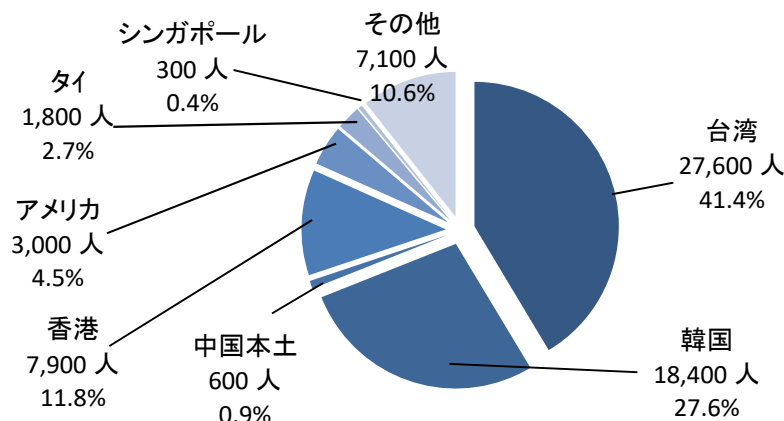
※「その他」には、海路における乗務員等2,700人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	27,600人	0人	皆増	45.8%	0人	0人	—	0.0%
韓国	18,400人	0人	皆増	30.6%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	600人	0人	皆増	1.0%	0人	0人	—	0.0%
香港	7,900人	0人	皆増	13.1%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,500人	0人	皆増	2.5%	1,500人	0人	皆増	23.1%
タイ	1,800人	0人	皆増	3.0%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	200人	0人	皆増	0.3%	100人	0人	皆増	1.5%
その他	2,200人	0人	皆増	3.7%	4,900人	0人	皆増	75.4%
合計	60,200人	0人	皆増	100.0%	6,500人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等2,700人を含む。

## 外国客の地域構成比





# 令和5年(2023)5月 入域観光客数概況(確定版)

64万5,200人  
 対前年(R4)同月比 +24万8,400人、+62.6%  
 ~5月としては復帰後5番目、対前年同月比で18ヶ月連続の増加~  
 ※(R元年度)同月比 ▲18万9,700人、▲22.7%

【更新履歴】①令和5年6月26日速報版公表

②令和5年8月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、8月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

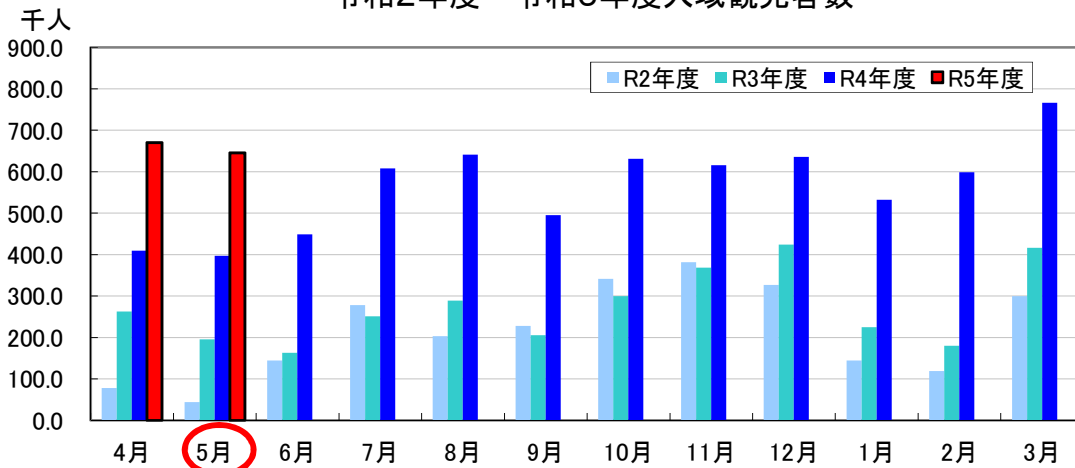
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	575,300人	396,800人	+178,500人	+45.0%	89.2%
外国客	69,900人	0人	+69,900人	皆増	10.8%
合計	645,200人	396,800人	+248,400人	+62.6%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等5,300人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

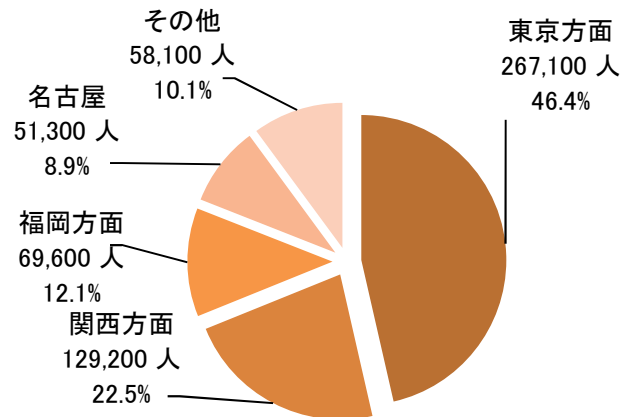
5月は月末に台風が襲来し、航空便の欠航やクルーズ船の寄港キャンセルの影響があったものの、新型コロナの5類感染症移行、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月比で178,500人の増(45.0%増)となった。特に、東京・福岡・名古屋方面については、コロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	267,100 人	199,100 人	+ 68,000 人	+ 34.2%	46.4%
関西方面	129,200 人	85,100 人	+ 44,100 人	+ 51.8%	22.5%
福岡方面	69,600 人	50,000 人	+ 19,600 人	+ 39.2%	12.1%
名古屋	51,300 人	35,700 人	+ 15,600 人	+ 43.7%	8.9%
その他	58,100 人	26,900 人	+ 31,200 人	+ 116.0%	10.1%
合計	575,300 人	396,800 人	+ 178,500 人	+ 45.0%	100.0%

※国内海路客11,100人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

5月は、新型コロナの5類感染症移行、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援等による需要喚起、航空会社による臨時便等により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 関西

5月は、月末に襲来した台風により神戸発クルーズ船の寄港キャンセルがあったものの、新型コロナの5類感染症移行、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月の約1.5倍となった。

### 福岡

5月は、新型コロナの5類感染症移行、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 名古屋

5月は、新型コロナの5類感染症移行、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援等による需要喚起、航空会社の季節運航等により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。



## 外国客 入域状況

5月は一部航空路線の運休が継続しているものの、新型コロナに係る水際対策の終了に加え、那覇－香港便増便(5/10～)、那覇－濟州チャーター便(5/12～14、19～21)、仏誕節休暇(5/26、香港)等により、外国客数は堅調に推移した。特に、4月に対して、韓国からは1,800人増(9.8%増)、香港からは2,700人増(34.2%増)と、航空路線拡充等の効果がみられた。

台湾・韓国・香港では夏季の割引航空券やツアー商品が販売されているほか、航空路線では、那覇－上海便再開(7/1～)、那覇－仁川臨時便(7/21～8/27)、那覇－クアラルンプール線(台北経由)が就航(8/16～)しており、段階的な回復が期待できる。

- トピック**
- ▶【台湾】夏休み期間中、DINO恐竜PARK、こどもの国などを楽しめる親子向けツアーや基隆港発クルーズ商品の販売が開始された。
  - ▶【韓国】女優一家の沖縄旅行を追ったバラエティ番組など、メディアで沖縄旅行が取り上げられた。
  - ▶【香港】香港空港管理局が、香港市民向けに沖縄を含むアジア路線の往復航空券8万枚を配布
  - ▶【タイ】タイ・ベトジェットエアの沖縄チャーター便は、海外旅行のローシーズンとなる6月から運休。10月頃から再開予定。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	27,300人	0人	+ 27,300人	皆増	39.1%
韓国	20,200人	0人	+ 20,200人	皆増	28.9%
中国本土	600人	0人	+ 600人	皆増	0.9%
香港	10,600人	0人	+ 10,600人	皆増	15.2%
アメリカ	1,600人	0人	+ 1,600人	皆増	2.3%
タイ	1,400人	0人	+ 1,400人	皆増	2.0%
シンガポール	200人	0人	+ 200人	皆増	0.3%
その他	8,000人	0人	+ 8,000人	皆増	11.4%
合計	69,900人	0人	+ 69,900人	皆増	100.0%

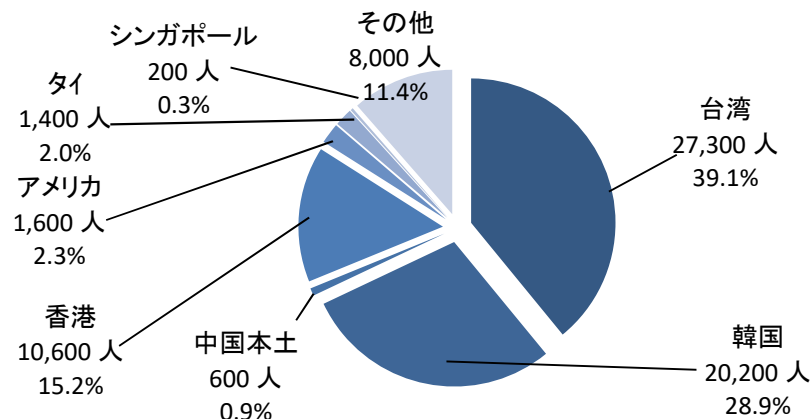
※「その他」には、海路における乗務員等5,300人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	27,300人	0人	皆増	43.1%	0人	0人	—	0.0%
韓国	20,100人	0人	皆増	31.8%	100人	0人	皆増	1.5%
中国本土	600人	0人	皆増	0.9%	0人	0人	—	0.0%
香港	10,600人	0人	皆増	16.7%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,200人	0人	皆増	1.9%	400人	0人	皆増	6.1%
タイ	1,400人	0人	皆増	2.2%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	200人	0人	皆増	0.3%	0人	0人	—	0.0%
その他	1,900人	0人	皆増	3.0%	6,100人	0人	皆増	92.4%
合計	63,300人	0人	皆増	100.0%	6,600人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等5,300人を含む。

## 外国客の地域構成比



# 令和5年(2023)6月 入域観光客数概況(確定版)

66万3,400人  
対前年(R4)同月比 +21万4,900人、+47.9%  
～6月としては復帰後5番目、対前年同月比で19ヶ月連続の増加～  
※(R元年度)同月比 ▲20万4,800人、▲23.6%

【更新履歴】①令和5年7月25日速報版公表

②令和5年9月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、9月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

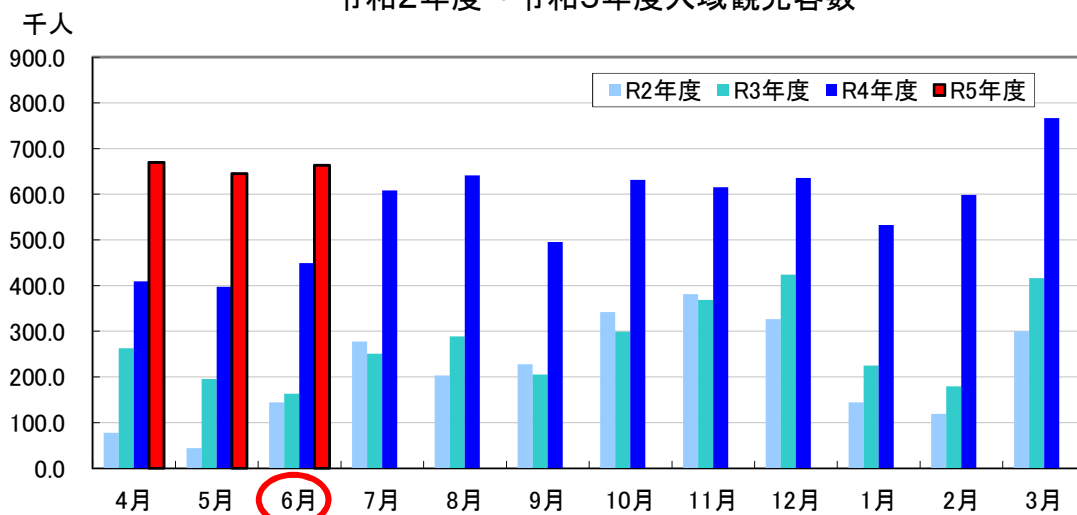
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	585,700人	448,500人	+137,200人	+30.6%	88.3%
外国客	77,700人	0人	+77,700人	皆増	11.7%
合計	663,400人	448,500人	+214,900人	+47.9%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等5,700人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

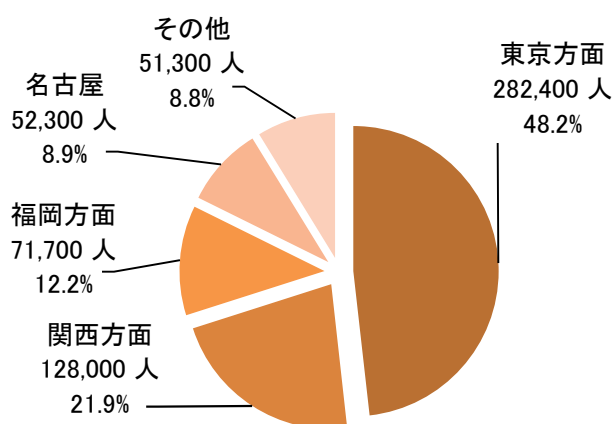
6月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、県内各地のハーリー大会等のイベント、6月中に計4回実施された日本船による那覇港発着クルーズ(フライ&クルーズ)等により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,400 人	222,500 人	+ 59,900 人	+ 26.9%	48.2%
関西方面	128,000 人	98,600 人	+ 29,400 人	+ 29.8%	21.9%
福岡方面	71,700 人	55,800 人	+ 15,900 人	+ 28.5%	12.2%
名古屋	52,300 人	41,600 人	+ 10,700 人	+ 25.7%	8.9%
その他	51,300 人	30,000 人	+ 21,300 人	+ 71.0%	8.8%
合計	585,700 人	448,500 人	+ 137,200 人	+ 30.6%	100.0%

※国内海路客8,400人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

6月は、全国旅行支援等による需要喚起や梅雨明け時期の週末需要を見込んだ航空会社による臨時便等があり、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 関西

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 福岡

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 名古屋

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 外国客 入域状況

6月は一部航空路線の運休が継続しているものの、那覇－香港便増便(6/6～、週5便→7便)や那覇－台北チャーター便(6/22、25)、端午節連休(6/22～24)等により、外国客数は堅調に推移した。

7月以降も、那覇－上海便、那覇－クアラルンプール便(台北経由)等航空路線の回復が続くなか、8月10日に中国政府による中国人の日本への団体旅行が解禁され、9月には中国本土路線の再開が続いており、台風の影響が懸念されるものの、総じて段階的な回復が期待できる状況にある。

- トピック**
- ▶【台湾】沖縄向け旅行需要が人気で、那覇大綱曳きやNAHAマラソンのツアー商品が販売された。
  - ▶【韓国】6月に韓国発着クルーズ船が寄港し、多くの韓国人観光客が来訪。韓国人歌手によるクルーズコンサートや那覇、宮古島等の寄港地での旅行がテレビで放映された。
  - ▶【マレーシア】8月16日に就航した那覇－クアラルンプール便(台北経由)に併せて、5泊6日沖縄ツアー商品が販売された。
  - ▶【中国本土】中国本土路線は運休が続いていたが、7月1日及び9月8日に那覇－上海便が再開し、9月28日に那覇－北京便の再開が予定されている。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	30,300人	0人	+ 30,300人	皆増	39.0%
韓国	22,600人	0人	+ 22,600人	皆増	29.1%
中国本土	900人	0人	+ 900人	皆増	1.2%
香港	13,400人	0人	+ 13,400人	皆増	17.2%
アメリカ	2,000人	0人	+ 2,000人	皆増	2.6%
タイ	400人	0人	+ 400人	皆増	0.5%
シンガポール	400人	0人	+ 400人	皆増	0.5%
その他	7,700人	0人	+ 7,700人	皆増	9.9%
合計	77,700人	0人	+ 77,700人	皆増	100.0%

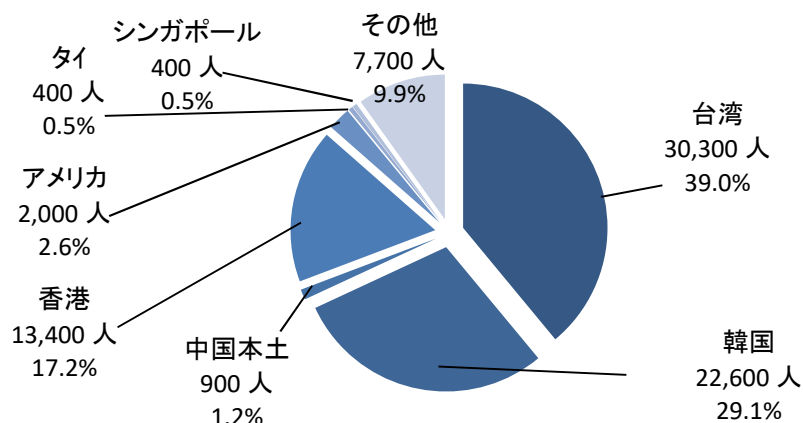
※「その他」には、海路における乗務員等5,700人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	30,300人	0人	皆増	44.5%	0人	0人	—	0.0%
韓国	19,800人	0人	皆増	29.1%	2,800人	0人	皆増	29.2%
中国本土	900人	0人	皆増	1.3%	0人	0人	—	0.0%
香港	13,400人	0人	皆増	19.7%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,300人	0人	皆増	1.9%	700人	0人	皆増	7.3%
タイ	400人	0人	皆増	0.6%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	400人	0人	皆増	0.6%	0人	0人	—	0.0%
その他	1,600人	0人	皆増	2.3%	6,100人	0人	皆増	63.5%
合計	68,100人	0人	皆増	100.0%	9,600人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等5,700人を含む。

## 外国客の地域構成比



# 令和5年（2023）7月 入域観光客数概況（確定版）

77万8,800人  
 対前年（R4）同月比 +17万1,000人、+28.1%  
 ～7月としては復帰後5番目、対前年同月比で20ヶ月連続の増加～  
 ※（R元年度）同月比 ▲18万4,800人、▲19.2%

- 【更新履歴】 ①令和5年8月25日速報版公表  
 ②令和5年10月25日確定版公表
- ※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。
- ※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

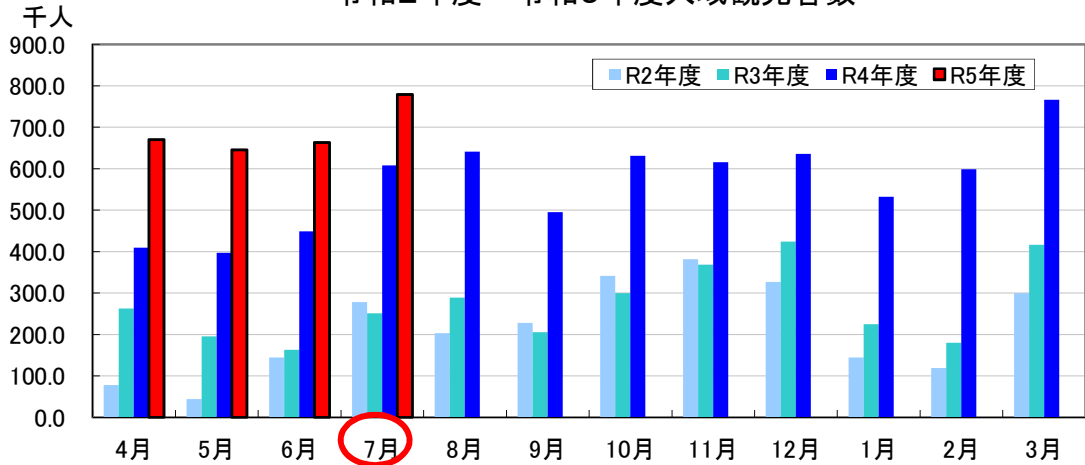
## 入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	663,600人	607,800人	+55,800人	+9.2%	85.2%
外国客	115,200人	0人	+115,200人	皆増	14.8%
合計	778,800人	607,800人	+171,000人	+28.1%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等10,400人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

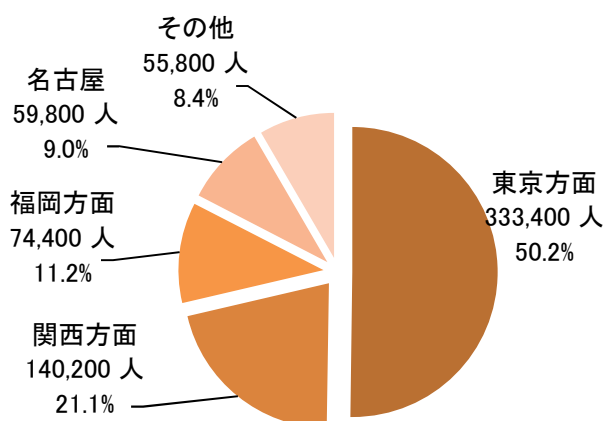
7月は、月末に襲来した台風による航空便の欠航やクルーズ船のキャンセルがあったものの、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、海洋博公園等で開催された花火大会等のイベント、航空会社による増便・臨時便、クルーズ船寄港等により前年同月を上回った。特に、東京・関西・名古屋方面においてはコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	333,400 人	317,200 人	+ 16,200 人	+ 5.1%	50.2%
関西方面	140,200 人	132,800 人	+ 7,400 人	+ 5.6%	21.1%
福岡方面	74,400 人	64,300 人	+ 10,100 人	+ 15.7%	11.2%
名古屋	59,800 人	57,200 人	+ 2,600 人	+ 4.5%	9.0%
その他	55,800 人	36,300 人	+ 19,500 人	+ 53.7%	8.4%
合計	663,600 人	607,800 人	+ 55,800 人	+ 9.2%	100.0%

※国内海路客8,700人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による増便・臨時便・季節運航等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 関西

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による増便・臨時便等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 福岡

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、スカイマークによる福岡～下地島路線の就航(7/14～8/31)等を受け、前年同月を上回った。

### 名古屋

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による臨時便・季節運航等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。



## 外国客 入域状況

7月は一部航空路線の運休が継続しているものの、夏休みの旅行需要に加え、那覇－上海便再開(7/1～)、那覇－仁川臨時便(7/21～8/27、週4便)等により、外国客数は堅調に推移した。

8月以降も、那覇－台北便増便(8/15～)、那覇－クアラルンプール便(台北経由)の就航(8/16～)、那覇－北京便(9/28～)等の再開に加え、9月中秋節連休、国慶節連休が続くことから、段階的な回復が期待できる。

- トピック**
- ▶【台湾】7月は台湾発クルーズ船が7回寄港し、2万人を超える台湾人観光客が来沖した。8月から10月にかけても複数回の寄港が予定されている。
  - ▶【香港】10月から複数回のクルーズ船の寄港が予定されており、香港の旅行社では沖縄行きクルーズ商品の販売が開始された。
  - ▶【中国本土】7月から那覇－上海便が再開したことで、空路による中国人観光客数は、6月の900人から7月は4,900人へと大幅な増加。
  - ▶【シンガポール】那覇－シンガポール便が11月30日から再開予定

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	55,100人	0人	+ 55,100人	皆増	47.8%
韓国	25,700人	0人	+ 25,700人	皆増	22.3%
中国本土	4,900人	0人	+ 4,900人	皆増	4.3%
香港	14,500人	0人	+ 14,500人	皆増	12.6%
アメリカ	1,400人	0人	+ 1,400人	皆増	1.2%
タイ	100人	0人	+ 100人	皆増	0.1%
シンガポール	100人	0人	+ 100人	皆増	0.1%
その他	13,400人	0人	+ 13,400人	皆増	11.6%
合計	115,200人	0人	+ 115,200人	皆増	100.0%

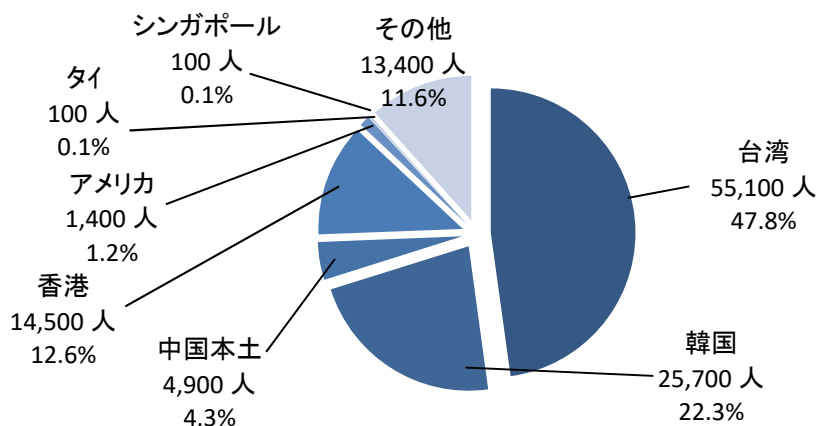
※「その他」には、海路における乗務員等10,400人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	31,100人	0人	皆増	38.7%	24,000人	0人	皆増	68.8%
韓国	25,600人	0人	皆増	31.9%	100人	0人	皆増	0.3%
中国本土	4,900人	0人	皆増	6.1%	0人	0人	—	0.0%
香港	14,500人	0人	皆増	18.1%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,300人	0人	皆増	1.6%	100人	0人	皆増	0.3%
タイ	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,700人	0人	皆増	3.4%	10,700人	0人	皆増	30.7%
合計	80,300人	0人	皆増	100.0%	34,900人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等10,400人を含む

## 外国客の地域構成比



# 令和5年(2023)8月 入域観光客数概況(確定版)

72万8,600人  
 対前年(R4)同月比 +8万7,800人、+13.7%  
 ~8月としては復帰後7番目、対前年同月比で21ヶ月連続の増加~  
 ※(R元年度)同月比 ▲29万2,600人、▲28.7%

【更新履歴】①令和5年9月25日速報版公表

②令和5年11月27日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、11月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

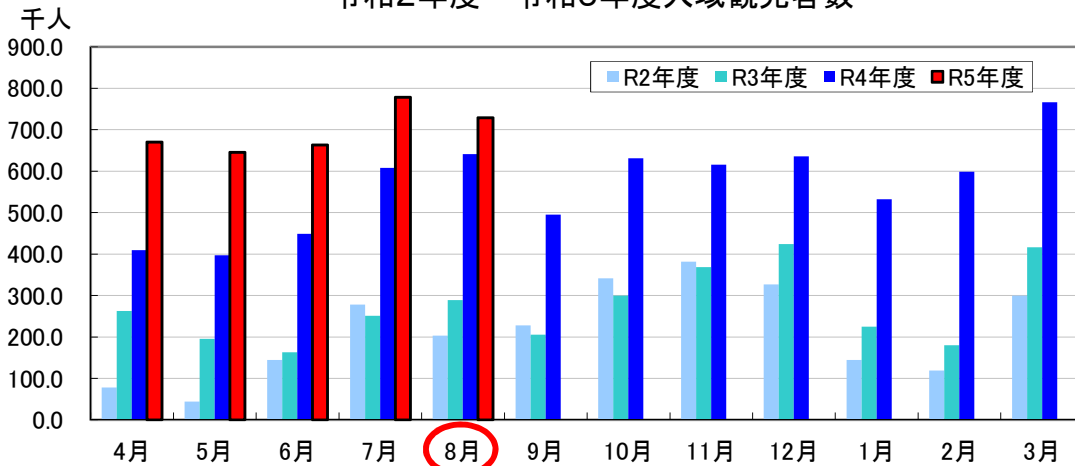
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	632,200人	640,700人	△8,500人	△1.3%	86.8%
外国客	96,400人	100人人	+96,300人	+96,300.0%	13.2%
合計	728,600人	640,800人	+87,800人	+13.7%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等6,000人を含む。

令和2年度~令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

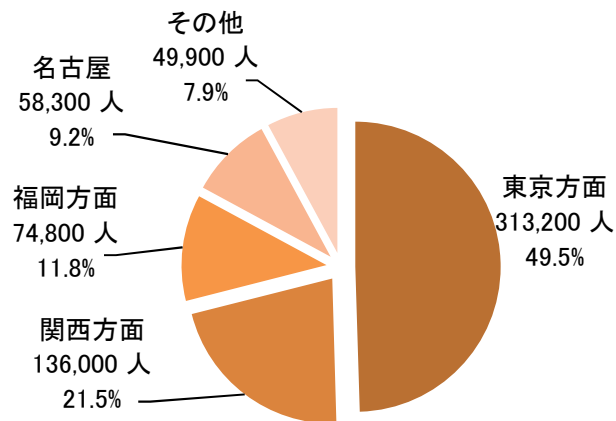
8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航やFIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄開催(8/25~)等があった。一方で、8月上旬、沖縄近海に長期間留まった台風6号等による航空路線の欠航(約2,000便)があったことから、令和3年11月以来、21か月ぶりに前年同月を下回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	313,200 人	327,600 人	△ 14,400 人	△ 4.4%	49.5%
関西方面	136,000 人	140,600 人	△ 4,600 人	△ 3.3%	21.5%
福岡方面	74,800 人	67,700 人	+ 7,100 人	+ 10.5%	11.8%
名古屋	58,300 人	62,200 人	△ 3,900 人	△ 6.3%	9.2%
その他	49,900 人	42,600 人	+ 7,300 人	+ 17.1%	7.9%
合計	632,200 人	640,700 人	△ 8,500 人	△ 1.3%	100.0%

※国内海路客3,500人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

### 関西

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号や近畿地方を横断した台風7号等による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

### 福岡

8月は、沖縄近海に長期間留まった台風6号による航空路線の欠航があったものの、夏休み旅行需要を見込んだスカイマークの期間運航(7/14~8/31、福岡ー下地島)等により、前年同月を上回った。

### 名古屋

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による季節運航等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号や近畿地方を横断した台風7号等による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

8月は、海外の夏休み旅行需要の取込みや那覇ー台北便増便(8/15～)、那覇ークアラルンプール便(台北経由)の就航(8/16～)等により、さらなる回復が期待された。一方、8月上旬の台風による国際航空路線の欠航等で大きな影響を受けた。

9月以降は、那覇ー台北便のさらなる増便(9/24～)、那覇ーシンガポール便再開(11/30～)等航空路線の増便・再開が続くこと、中秋節・国慶節連休(9月末～10月上旬)、重陽節(10/23)の旅行需要を受け、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】冬季シーズンに向けて、県内の温泉付ホテル宿泊や首里金城町石畳道散策などの少人数ツアーが販売され人気
  - ▶【台湾】那覇ー台北臨時便が、9月末終了を来年3月まで延長したほか、中秋節(9/29)を見込んだ石垣ー台北チャーター便で台湾発が満席と好調
  - ▶【香港】9月・10月、台風による国際航空路線の欠航があり、沖縄観光への影響が懸念される。
  - ▶【中国本土】8月、令和2年1月以来、約3年半ぶりに上海発クルーズ船が寄港し、多数の中国人観光客が来訪

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	48,500人	0人	+48,500人	皆増	50.3%
韓国	20,200人	100人	+20,100人	+20100.0%	21.0%
中国本土	5,800人	0人	+5,800人	皆増	6.0%
香港	12,000人	0人	+12,000人	皆増	12.4%
アメリカ	1,100人	0人	+1,100人	皆増	1.1%
タイ	100人	0人	+100人	皆増	0.1%
シンガポール	100人	0人	+100人	皆増	0.1%
その他	8,600人	0人	+8,600人	皆増	8.9%
合計	96,400人	100人	+96,300人	+96300.0%	100.0%

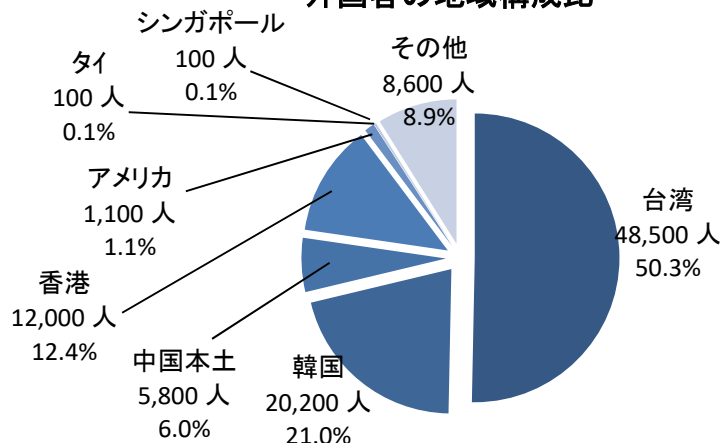
※「その他」には、海路における乗務員等6,000人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	30,900人	0人	皆増	43.2%	17,600人	0人	皆増	71.0%
韓国	20,200人	100人	+20100.0%	28.2%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	4,800人	0人	皆増	6.7%	1,000人	0人	皆増	4.0%
香港	12,000人	0人	皆増	16.8%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,100人	0人	皆増	1.5%	0人	0人	—	0.0%
タイ	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,400人	0人	皆増	3.4%	6,200人	0人	皆増	25.0%
合計	71,600人	100人	+71500.0%	100.0%	24,800人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等6,000人を含む。

## 外国客の地域構成比



# 令和5年（2023）9月 入域観光客数概況（確定版）

71万100人  
 対前年（R4）同月比 +21万5,400人、+43.5%  
 ～9月としては復帰後6番目、対前年同月比で22ヶ月連続の増加～  
 ※（R元年度）同月比 ▲9万9,200人、▲12.3%

【更新履歴】①令和5年10月25日速報版公表

②令和5年12月25日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、12月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

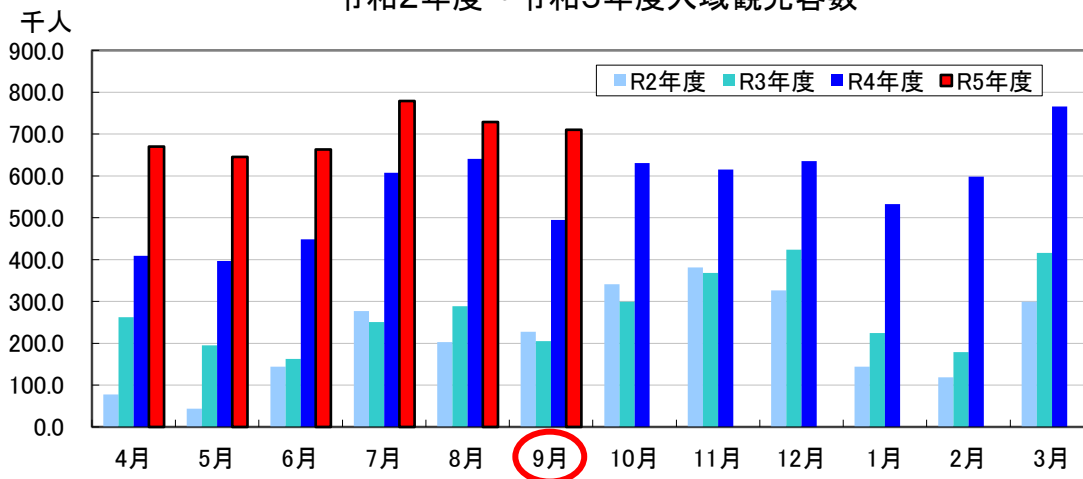
## 入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	603,500人	494,700人	+108,800人	+22.0%	85.0%
外国客	106,600人	0人	+106,600人	皆増	15.0%
合計	710,100人	494,700人	+215,400人	+43.5%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等7,600人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

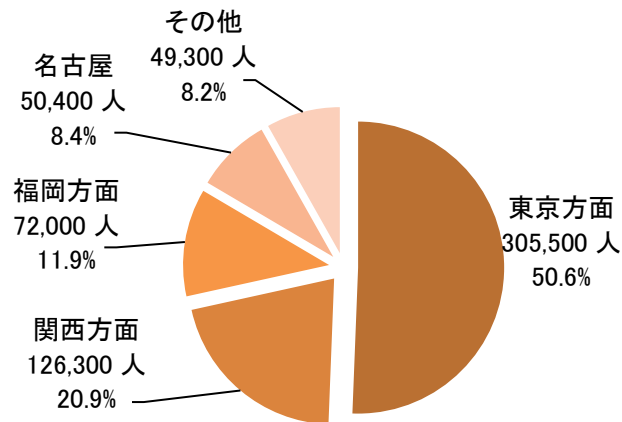
9月は、全国旅行支援の宿泊割引再開による需要喚起のほか、FIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄開催や沖縄全島エイサーまつり等の県内イベントの開催があったことから、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	305,500 人	262,100 人	+ 43,400 人	+ 16.6%	50.6%
関西方面	126,300 人	103,100 人	+ 23,200 人	+ 22.5%	20.9%
福岡方面	72,000 人	54,900 人	+ 17,100 人	+ 31.1%	11.9%
名古屋	50,400 人	43,200 人	+ 7,200 人	+ 16.7%	8.4%
その他	49,300 人	31,400 人	+ 17,900 人	+ 57.0%	8.2%
合計	603,500 人	494,700 人	+ 108,800 人	+ 22.0%	100.0%

※国内海路客3,800人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

9月は、全国旅行支援の宿泊割引再開による需要喚起等のほか、航空会社による連休等の需要を見込んだ臨時便があったことから、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 関西

9月は、全国旅行支援の宿泊割引再開による需要喚起等があったことから、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 福岡

9月は、全国旅行支援の宿泊割引再開による需要喚起等があったことから、前年同月を上回った。

### 名古屋

9月は、全国旅行支援の宿泊割引再開による需要喚起等があったことから、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。



## 外国客 入域状況

9月は一部航空路線の運休が継続しているものの、那覇ー台北便増便(9/24～)のほか、中秋節連休等により、外国客数は堅調に推移した。

10月以降について、国慶日連休に係る那覇ー台北チャーター便が満席と好調のほか、那覇ーシンガポール便(11/30～)、那覇ー高雄便(1/1～)等航空路線の再開や国慶節連休(10月上旬)、重陽節(10/23)の旅行需要を受け、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【中国本土】10月から11月にかけて、厦門(福建省)発着クルーズ船が複数回寄港し、多数の中国人観光客が来訪
  - ▶【中国本土】9月29日に運航再開した那覇ー北京便は、国慶節連休後に搭乗率低下。10月19日から運休していたが12月23日に再開。
  - ▶【台湾】冬季シーズン商品として、クリスマスイルミネーション等を回るツアーが販売されたほか、波上宮で初日の出を見るツアー商品が好評。
  - ▶【韓国】県ソウル事務所において、韓国の旅行作家兼ブロガーを沖縄本島・離島に派遣し、ブログ掲載等のプロモーションを実施(参考:<https://likejp.com>)
  - ▶【香港】冬季シーズン商品として、クリスマス向けの沖縄ツアーや、1・2月の桜の名所(名護中央公園、与儀公園)巡りのツアーを販売。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	56,600人	0人	+ 56,600人	皆増	53.1%
韓国	21,500人	0人	+ 21,500人	皆増	20.2%
中国本土	6,300人	0人	+ 6,300人	皆増	5.9%
香港	10,000人	0人	+ 10,000人	皆増	9.4%
アメリカ	1,500人	0人	+ 1,500人	皆増	1.4%
タイ	100人	0人	+ 100人	皆増	0.1%
シンガポール	200人	0人	+ 200人	皆増	0.2%
その他	10,400人	0人	+ 10,400人	皆増	9.8%
合計	106,600人	0人	+ 106,600人	皆増	100.0%

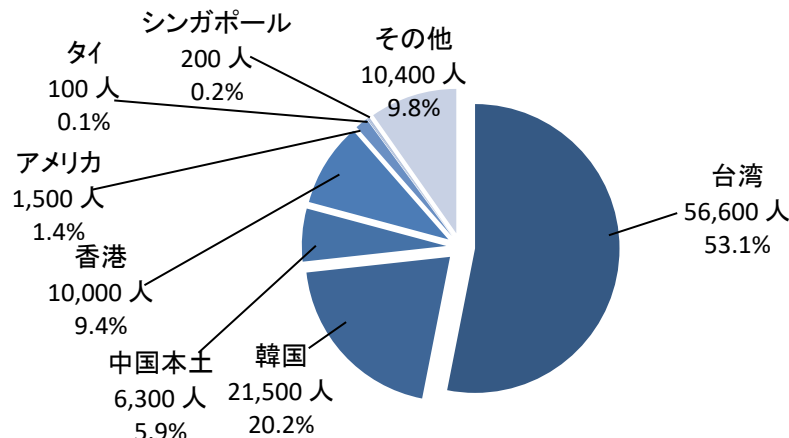
※「その他」には、海路における乗務員等7,600人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	38,500人	0人	皆増	48.4%	18,100人	0人	皆増	67.0%
韓国	21,500人	0人	皆増	27.0%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	5,600人	0人	皆増	7.0%	700人	0人	皆増	2.6%
香港	10,000人	0人	皆増	12.6%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,200人	0人	皆増	1.5%	300人	0人	皆増	1.1%
タイ	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	200人	0人	皆増	0.3%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,500人	0人	皆増	3.1%	7,900人	0人	皆増	29.3%
合計	79,600人	0人	皆増	100.0%	27,000人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等7,600人を含む。

## 外国客の地域構成比



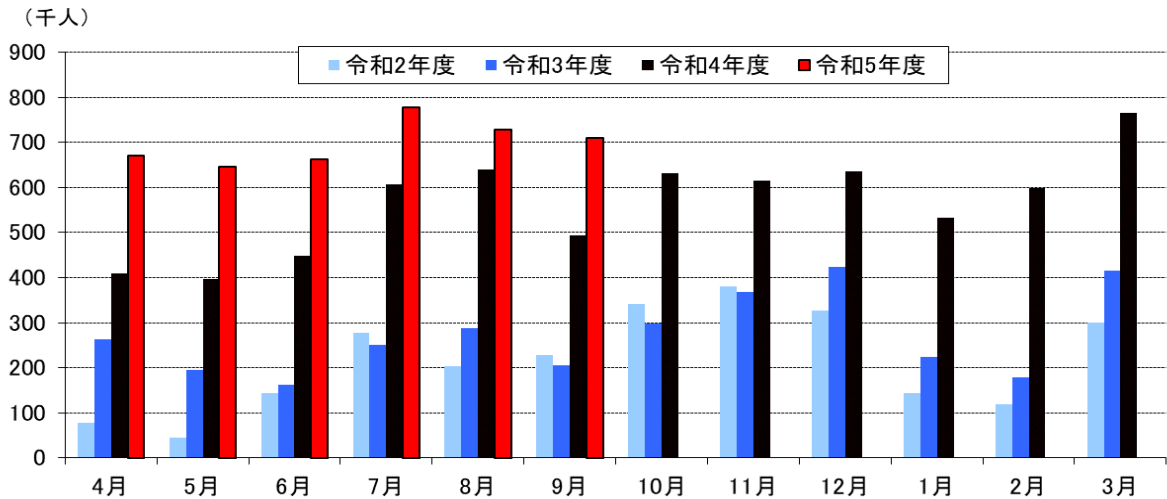
# 令和5年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課  
令和5年10月発表

**令和5年度上半期 419万5,900人**  
**対前年度(R4)比 +119万8,300人、+40.0%**  
**同期比では過去5番目、3年連続の増加**  
**令和元年度同期比 △115万2,700人、△21.6%**

## 入域観光客数（国内+外国）

### ■月別入域観光客数の推移（令和2年度～令和5年度）



### ■令和5年度上半期入域観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
<b>令和5年度</b>	<b>669,800</b>	<b>645,200</b>	<b>663,400</b>	<b>778,800</b>	<b>728,600</b>	<b>710,100</b>	<b>4,195,900</b>
令和4年度	409,000	396,800	448,500	607,800	640,800	494,700	2,997,600
増減数	260,800	248,400	214,900	171,000	87,800	215,400	1,198,300
増減率	63.8%	62.6%	47.9%	28.1%	13.7%	43.5%	40.0%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-181,600	-189,700	-204,800	-184,800	-292,600	-99,200	-1,152,700
増減率	-21.3%	-22.7%	-23.6%	-19.2%	-28.7%	-12.3%	-21.6%

### ■令和5年度上半期の概況（総括）

令和5年度上半期の入域観光客数は、419万5,900人となり、対前年度同期比で119万8,300人、率にして40.0%の増と、3年連続の増加となった。また、令和元年度上半期に対して21.6%の減となった。

国内観光客は台風の影響のあった8月を除きコロナ禍前の水準まで回復していることに加え、外国人観光客は国際航空路線やクルーズ船の再開が進んだことで段階的に回復しつつあることから、下半期もこのまま回復傾向が続くものと見込まれる。

## 国内観光客についての動向

### ■令和5年度上半期国内観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和5年度	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	3,663,400
令和4年度	409,000	396,800	448,500	607,800	640,700	494,700	2,997,500
増減数	194,100	178,500	137,200	55,800	-8,500	108,800	665,900
増減率	47.5%	45.0%	30.6%	9.2%	-1.3%	22.0%	22.2%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	2,000	8,800	15,900	2,800	-106,100	12,900	-63,700
増減率	0.3%	1.6%	2.8%	0.4%	-14.4%	2.2%	-1.7%

### ■国内観光客の概況

令和5年度上半期は、5月8日に新型コロナが「5類感染症」に移行したことや全国旅行支援等による需要喚起により、台風の影響のあった8月を除き対前年度同月をいずれも上回り、上半期累計では22.2%増となった。

令和元年度に対しても8月を除き同月比でプラスとなり、上半期の累計では98.3%でコロナ禍前と同水準まで回復している。

下半期は、修学旅行の入込み見込み数が前年度を上回る状況であること、県外発の大型クルーズ船の寄港が複数予定されていることから、さらなる回復が見込まれる。

## 外国人観光客についての動向

### ■令和5年度上半期国内観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和5年度	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	532,500
令和4年度	0	0	0	0	100	0	100
増減数	66,700	69,900	77,700	115,200	96,300	106,600	532,400
増減率	-	-	-	-	96300.0%	-	532400.0%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-183,600	-198,500	-220,700	-187,600	-186,500	-112,100	-1,089,000
増減率	-73.4%	-74.0%	-74.0%	-62.0%	-65.9%	-51.3%	-67.2%

※8月及び9月については速報値

### ■外国人観光客の概況

令和4年度上半期は、海外から日本への入国制限措置等から累計100人に留まったが、令和4年10月に水際対策が大幅に緩和されて航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで、令和5年度上半期は、前年度同期に対して大幅な回復となった。

一方、中国本土便など一部航空路線の運休が継続していること等から、令和元年度上半期の32.8%に留まっているものの、航空路線の復便等に応じて段階的に回復している。

下半期も、那覇－シンガポール便、那覇－高雄（台湾）便の再開が予定されていること、台湾、香港等からの大型クルーズ船の寄港が複数予定されていることから、引き続き段階的な回復が期待できる。

# 令和5年(2023)10月 入域観光客数概況(確定版)

78万8,300人  
 対前年(R4)同月比 +15万7,600人、+25.0%  
 ～10月としては復帰後4番目、対前年同月比で23ヶ月連続の増加～  
 ※(R元年度)同月比 ▲6万3,000人、▲7.4%

【更新履歴】①令和5年11月27日速報版公表

②令和6年1月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、1月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

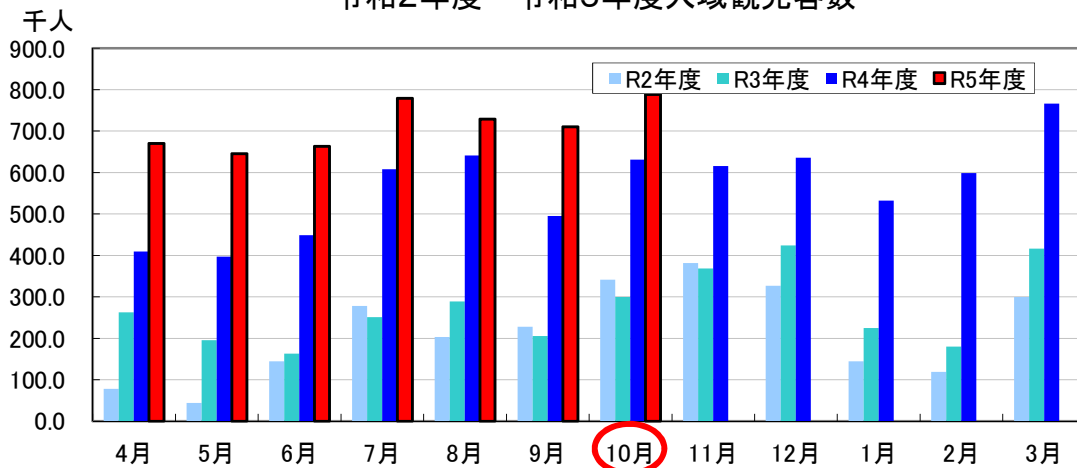
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	672,900人	628,000人	+44,900人	+7.1%	85.4%
外国客	115,400人	2,700人	+112,700人	+4,174.1%	14.6%
合計	788,300人	630,700人	+157,600人	+25.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等12,300人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

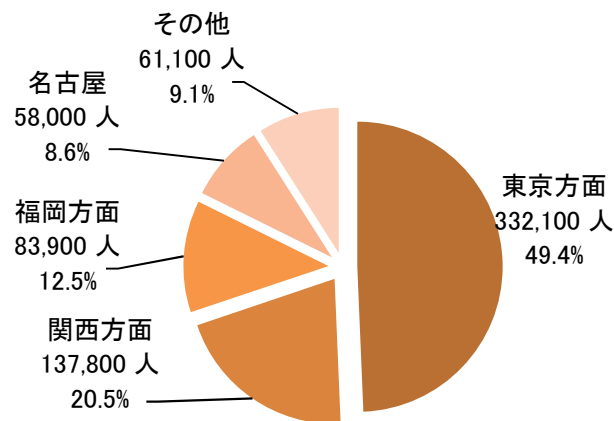
10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり(10/7～9)等の県内イベントの開催があったこと、横浜発着大型クルーズ船の寄港が2回あったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	332,100 人	316,400 人	+ 15,700 人	+ 5.0%	49.4%
関西方面	137,800 人	131,800 人	+ 6,000 人	+ 4.6%	20.5%
福岡方面	83,900 人	74,600 人	+ 9,300 人	+ 12.5%	12.5%
名古屋	58,000 人	59,300 人	△ 1,300 人	△ 2.2%	8.6%
その他	61,100 人	45,900 人	+ 15,200 人	+ 33.1%	9.1%
合計	672,900 人	628,000 人	+ 44,900 人	+ 7.1%	100.0%

※国内海路客5,300人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと、航空会社による連休等の需要を見込んだ臨時便があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 関西

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 福岡

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

### 名古屋

10月は、前年度に同月まで運航されていた石垣・宮古行き季節運航が、今年度は8月までの運航であったこと等から前年度同月を下回ったものの、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったことから、コロナ禍前の令和元年度同月を上回り、堅調に推移した。

## 外国客 入域状況

10月は一部航空路線の運休が継続しているものの、国慶日連休に係る那覇ー台北チャーター便運航のほか、国慶節連休(10月上旬)、重陽節連休(香港、10/21~23)等の旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

11月以降について、那覇ー北京便の一時運休(12/23再開)等があったものの、那覇ーシンガポール便(11/30~)、那覇ー高雄便(1/1~)等航空路線の再開が続くほか、クリスマス休暇や年末年始、春節等による旅行需要を受け、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶ 令和5年3月の国際クルーズ船再開以降、10月の海路客が最多となった。7月から9月までは台湾人観光客が多くを占めていたが、10月は「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」、「ノルウェー・ジャン・ジュエル」等の大型クルーズ船の寄港により、欧米、オーストラリア等からも多くの観光客が沖縄を訪問した。
  - ▶ 【台湾】那覇ー高雄便について、チャイナエアラインの運航再開(1/1~、週3便)に続き、タイガーエア台湾が臨時便を運航(1/16~2/14、週7便)
  - ▶ 【シンガポール】ジェットスター直行便を活用したツアー商品の造成が進んでおり、初便では自転車持参によるサイクリングツアー等での来沖があった。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	44,000人	1,300人	+42,700人	+3,284.6%	38.1%
韓国	23,900人	0人	+23,900人	皆増	20.7%
中国本土	4,600人	0人	+4,600人	皆増	4.0%
香港	13,600人	1,100人	+12,500人	+1,136.4%	11.8%
アメリカ	6,100人	200人	+5,900人	+2,950.0%	5.3%
タイ	300人	0人	+300人	皆増	0.3%
シンガポール	1,200人	0人	+1,200人	皆増	1.0%
その他	21,700人	100人	+21,600人	+21,600.0%	18.8%
合計	115,400人	2,700人	+112,700人	+4,174.1%	100.0%

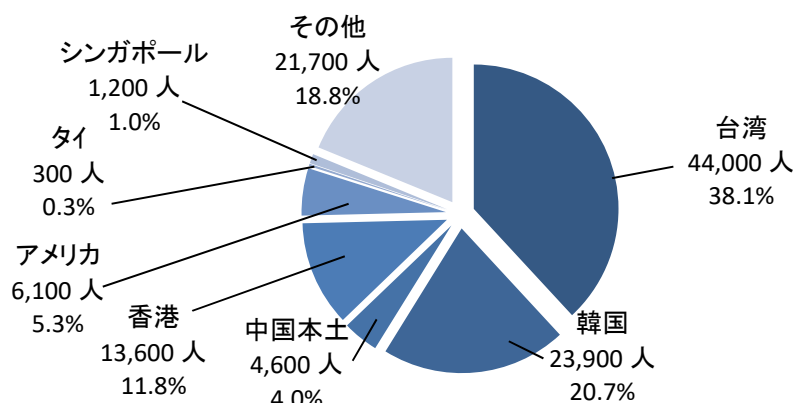
※「その他」には、海路における乗務員等12,300人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	37,100人	1,300人	+2,753.8%	47.0%	6,900人	0人	皆増	18.9%
韓国	21,400人	0人	皆増	27.1%	2,500人	0人	皆増	6.8%
中国本土	3,700人	0人	皆増	4.7%	900人	0人	皆増	2.5%
香港	11,100人	1,100人	+909.1%	14.1%	2,500人	0人	皆増	6.8%
アメリカ	1,500人	200人	+650.0%	1.9%	4,600人	0人	皆増	12.6%
タイ	200人	0人	皆増	0.3%	100人	0人	皆増	0.3%
シンガポール	300人	0人	皆増	0.4%	900人	0人	皆増	2.5%
その他	3,600人	100人	+3,500.0%	4.6%	18,100人	0人	皆増	49.6%
合計	78,900人	2,700人	+2,822.2%	100.0%	36,500人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等12,300人を含む

## 外国客の地域構成比





# 令和5年(2023)11月 入域観光客数概況(確定版)

68万8,200人

対前年(R4)同月比 +7万3,200人、+11.9%

～11月としては復帰後4番目、対前年同月比で24ヶ月連続の増加～

※(R元年度)同月比 ▲11万1,000人、▲13.9%

【更新履歴】①令和5年12月25日速報版公表

②令和6年2月26日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、2月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

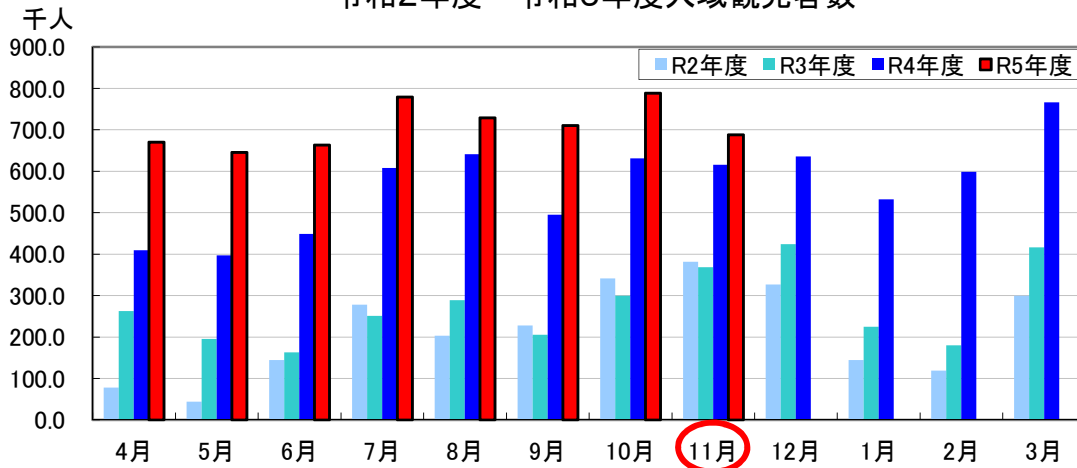
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	597,100人	602,900人	△5,800人	△1.0%	86.8%
外国客	91,100人	12,100人	+79,000人	+652.9%	13.2%
合計	688,200人	615,000人	+73,200人	+11.9%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等4,200人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

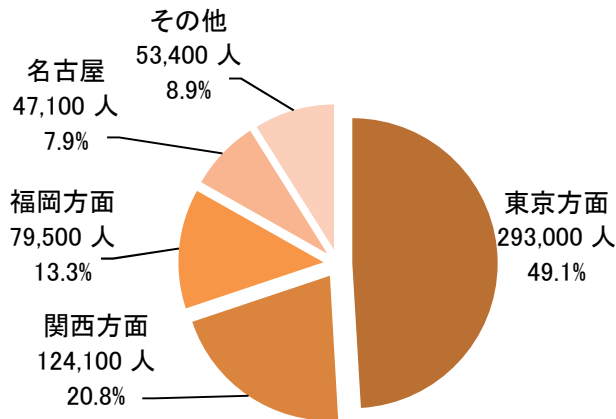
11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年、高い割引率で実施された全国旅行支援(第1期(10/11～12/27))の反動等により、前年同月をわずかに下回った(△1.0%)。また、令和元年同月に対しても、わずかに下回った(△0.5%)。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	293,000 人	297,000 人	△ 4,000 人	△ 1.3%	49.1%
関西方面	124,100 人	127,900 人	△ 3,800 人	△ 3.0%	20.8%
福岡方面	79,500 人	75,900 人	+ 3,600 人	+ 4.7%	13.3%
名古屋	47,100 人	53,300 人	△ 6,200 人	△ 11.6%	7.9%
その他	53,400 人	48,800 人	+ 4,600 人	+ 9.4%	8.9%
合計	597,100 人	602,900 人	△ 5,800 人	△ 1.0%	100.0%

※国内海路客1,700人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

### 関西

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

### 福岡

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催により、前年同月及び令和元年同月を上回った。

### 名古屋

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

11月は、月末にジェットスターの那覇ーシンガポール便が再開したものの、9月、10月のようなアジア諸国の大型連休がなかったこと、冬場に入り大型クルーズ船の寄港が減ったこと等から、段階的な回復が続いていた9月、10月を下回った。

12月以降について、一時運休していた那覇ー北京便が再開(12/23～)したほか、1月には那覇ー高雄(台湾)便の再開や那覇ー台北便、那覇ー上海便の増便など航空路線の回復がさらに進んだこと、クリスマス休暇、年末年始、春節等による旅行需要が期待できることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶ クルーズ船の寄港は12月をボトムに1月から再び増加。基隆や香港発の大型クルーズ船が複数回寄港するほか、中国初の国産大型クルーズ船「アドラ・マジックシティ」(上海発着)が1月1回、2月2回寄港予定。
  - ▶ 【台湾・韓国】台湾、韓国の旅行社においてプロ野球キャンプ見学ツアー商品が販売(台湾からは石垣市、韓国からは恩納村、うるま市等のツアー)。
  - ▶ 【タイ】タイ・エアアジアによる那覇ーバンコク便の新規就航(4/2～)が公表される。県シンガポール事務所ではFAMツアー(旅行社、メディア向けモニターツアー)を実施。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	34,300人	5,900人	+28,400人	+481.4%	37.7%
韓国	24,400人	0人	+24,400人	皆増	26.8%
中国本土	6,400人	0人	+6,400人	皆増	7.0%
香港	10,800人	5,400人	+5,400人	+100.0%	11.9%
アメリカ	3,800人	300人	+3,500人	+1166.7%	4.2%
タイ	300人	0人	+300人	皆増	0.3%
シンガポール	800人	0人	+800人	皆増	0.9%
その他	10,300人	500人	+9,800人	+1960.0%	11.3%
合計	91,100人	12,100人	+79,000人	+652.9%	100.0%

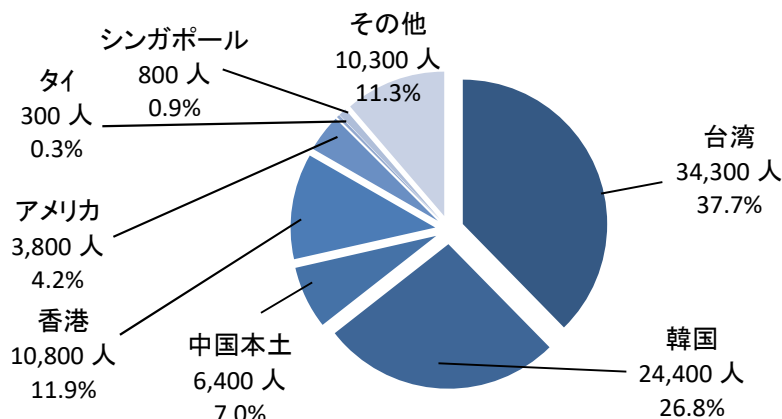
※「その他」には、海路における乗務員等4,200人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	34,300人	5,900人	+481.4%	44.3%	0人	0人	—	0.0%
韓国	24,400人	0人	皆増	31.5%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	2,200人	0人	皆増	2.8%	4,200人	0人	皆増	30.9%
香港	10,700人	5,400人	+98.1%	13.8%	100人	0人	皆増	0.7%
アメリカ	1,600人	300人	+433.3%	2.1%	2,200人	0人	皆増	16.2%
タイ	300人	0人	皆増	0.4%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	800人	0人	皆増	1.0%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,200人	500人	+540.0%	4.1%	7,100人	0人	皆増	52.2%
合計	77,500人	12,100人	+540.5%	100.0%	13,600人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等4,200人を含む。

## 外国客の地域構成比



# 令和5年(2023)12月 入域観光客数概況(確定版)

66万6,700人

対前年(R4)同月比 +3万1,700人、+5.0%

～12月としては復帰後4番目、対前年同月比で25ヶ月連続の増加～

※(R元年度)同月比 ▲8万8,400人、▲11.7%

【更新履歴】①令和6年1月25日速報版公表

②令和6年3月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

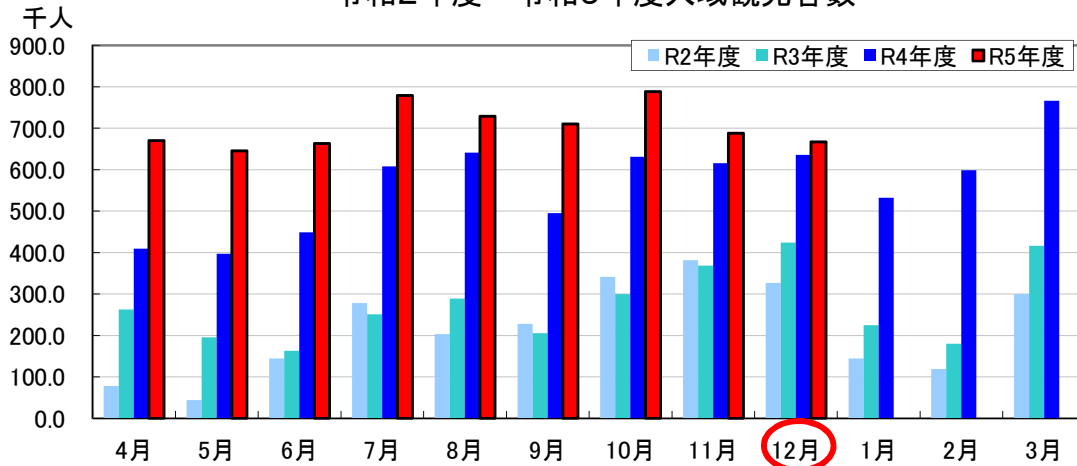
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,500人	602,200人	△30,700人	△5.1%	85.7%
外国客	95,200人	32,800人	+62,400人	+190.2%	14.3%
合計	666,700人	635,000人	+31,700人	+5.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等2,800人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

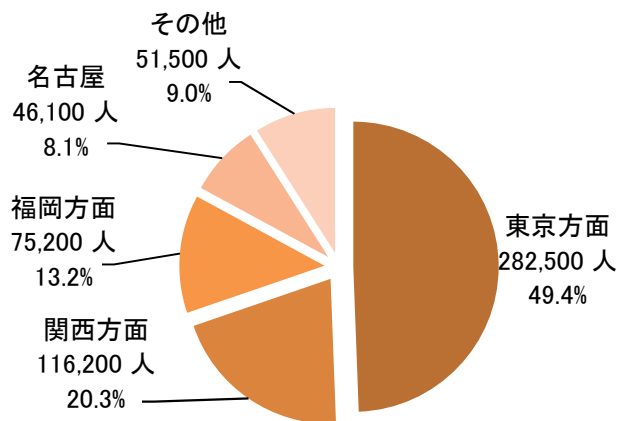
12月は、修学旅行シーズンであること、国内でも人気のNAHAマラソンが通常開催されたことのほか、横浜発大型クルーズ船の寄港や年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着チャーター便等があったものの、昨年の全国旅行支援(第1期(10/11～12/27))の反動減等により、前年同月を下回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,500 人	297,800 人	△ 15,300 人	△ 5.1%	49.4%
関西方面	116,200 人	124,200 人	△ 8,000 人	△ 6.4%	20.3%
福岡方面	75,200 人	75,300 人	△ 100 人	△ 0.1%	13.2%
名古屋	46,100 人	55,700 人	△ 9,600 人	△ 17.2%	8.1%
その他	51,500 人	49,200 人	+ 2,300 人	+ 4.7%	9.0%
合計	571,500 人	602,200 人	△ 30,700 人	△ 5.1%	100.0%

※国内海路客5,000人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

### 関西

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

### 福岡

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンの通常開催等があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月をわずかに下回った(△0.1%)。また、令和元年同月に対しては上回った。

### 名古屋

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による季節運航(名古屋-宮古/石垣(12/22~1/8))があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減や昨年同時期に運航されていた名古屋-石垣便運休等で前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

12月は、クルーズ船の寄港が減少したものの、航空路線では11月末に再開した那覇－シンガポール便が好調であること、一時運休していた那覇－北京便が再開(12/23～)したことのほか、クリスマス休暇、年末年始による旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

1月以降について、年始、春節等による旅行需要が期待できるほか、クルーズ船寄港回数が大きく増加していること、航空路線においては、1月に那覇－高雄(台湾)便の再開や那覇－台北便、那覇－上海便の増便があったこと、3月以降も那覇－釜山便の再開、那覇－バンコク便の新規就航等が予定されていることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】冬休み(1月下旬～2/14)にDINO恐竜PARKやこどもの国などを巡る親子向けツアー、ホエールウォッチングを組み込んだツアーが販売される。
  - ▶【韓国】ジンエアーが那覇－釜山便の再開(3/29～)、下地島－仁川便の新規就航(5/29～)を予定。下地島空港においては4年ぶりの国際線再開となる。
  - ▶台湾、香港等で、春節に係る沖縄向けのツアー商品、クルーズ商品が複数販売された。沖縄観光コンベンションビューローの調査では、春節期間中(2/8～17)に台湾、韓国、香港、中国の4方面から約33,000人が来沖した。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	35,700人	10,400人	+25,300人	+243.3%	37.5%
韓国	26,900人	12,300人	+14,600人	+118.7%	28.3%
中国本土	4,200人	200人	+4,000人	+2000.0%	4.4%
香港	16,300人	7,500人	+8,800人	+117.3%	17.1%
アメリカ	2,000人	800人	+1,200人	+150.0%	2.1%
タイ	400人	100人	+300人	+300.0%	0.4%
シンガポール	2,600人	200人	+2,400人	+1200.0%	2.7%
その他	7,100人	1,300人	+5,800人	+446.2%	7.5%
合計	95,200人	32,800人	+62,400人	+190.2%	100.0%

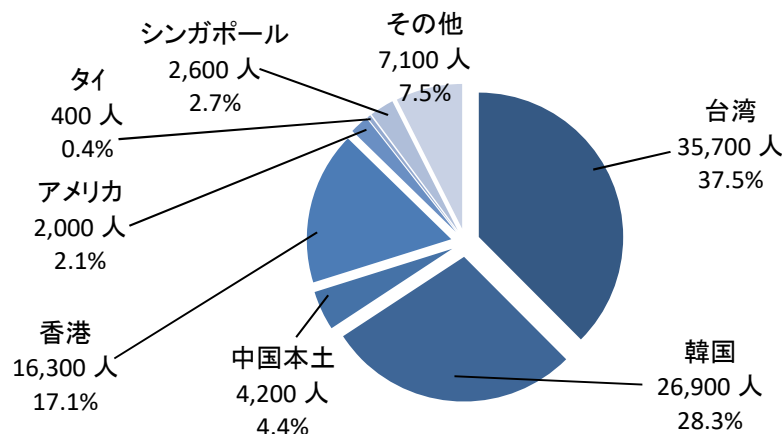
※「その他」には、海路における乗務員等2,800人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	35,500人	10,400人	+241.3%	39.9%	200人	0人	皆増	3.2%
韓国	26,800人	12,300人	+117.9%	30.1%	100人	0人	皆増	1.6%
中国本土	4,100人	200人	+1950.0%	4.6%	100人	0人	皆増	1.6%
香港	14,300人	7,500人	+90.7%	16.1%	2,000人	0人	皆増	32.3%
アメリカ	1,700人	800人	+112.5%	1.9%	300人	0人	皆増	4.8%
タイ	400人	100人	+300.0%	0.4%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	2,600人	200人	+1200.0%	2.9%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,600人	1,300人	+176.9%	4.0%	3,500人	0人	皆増	56.5%
合計	89,000人	32,800人	+171.3%	100.0%	6,200人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等2,800人を含む。

## 外国客の地域構成比





# 令和6年（2024）1月 入域観光客数概況（確定版）

62万9,200人

対前年（R5）同月比 +9万7,000人、+18.2%

～1月としては復帰後5番目、対前年同月比で26ヶ月連続の増加～

※（R2）同月比 ▲9万8,600人、▲13.5%

【更新履歴】①令和6年2月26日速報版公表

②令和6年4月25日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

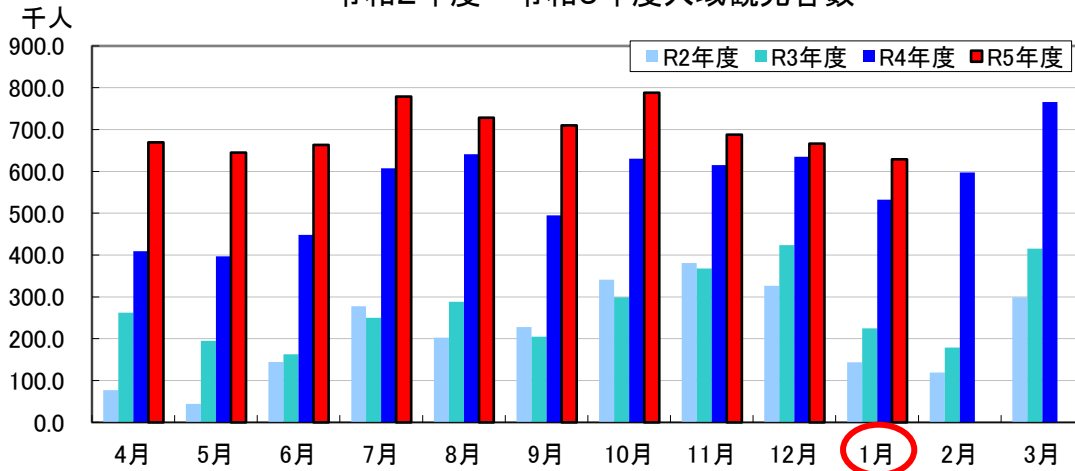
## 入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	508,800人	487,400人	+21,400人	+4.4%	80.9%
外国客	120,400人	44,800人	+75,600人	+168.8%	19.1%
合計	629,200人	532,200人	+97,000人	+18.2%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等10,900人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

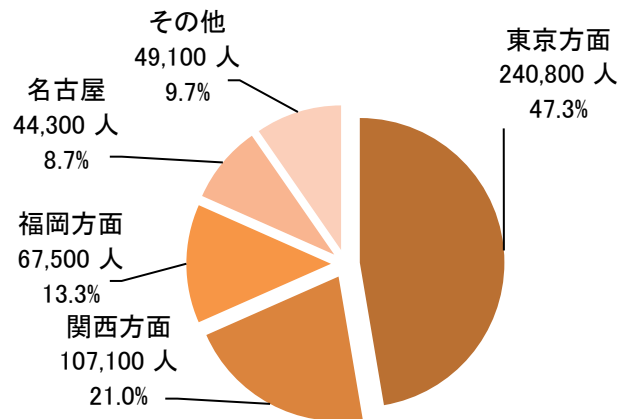
1月は、外国船では初となる那覇発着フライ&クルーズが4回実施されたほか、県内各地で開催された桜まつりやマラソン大会、サッカーキャンプ見学等の各種イベント、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便や地方発着チャーター便があったこと等から、前年同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	240,800 人	235,700 人	+ 5,100 人	+ 2.2%	47.3%
関西方面	107,100 人	100,100 人	+ 7,000 人	+ 7.0%	21.0%
福岡方面	67,500 人	61,900 人	+ 5,600 人	+ 9.0%	13.3%
名古屋	44,300 人	46,100 人	△ 1,800 人	△ 3.9%	8.7%
その他	49,100 人	43,600 人	+ 5,500 人	+ 12.6%	9.7%
合計	508,800 人	487,400 人	+ 21,400 人	+ 4.4%	100.0%

※国内海路客4,000人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントがあったほか、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便があったこと等から、前年同月を上回った。

### 関西

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントがあったほか、年始・連休に係る航空会社の増便があったこと等から、前年同月及び令和2年同月を上回った。

### 福岡

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントにより、前年同月を上回った。

### 名古屋

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベント、年始・連休に係る航空会社の季節運航(名古屋-宮古/石垣)があったものの、昨年同時期に運航されていた名古屋-石垣便運休等で前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

1月は、クルーズ船の寄港が増加したこと、航空路線では、那覇-高雄(台湾)便の再開、那覇-台北便、那覇-上海便の増便があったことのほか、年始、冬休み(1月下旬)の旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

2月以降については、4月3日に発生した台湾東部地震の影響が懸念されるものの、春節の大型連休やイースター連休による旅行需要が期待できるほか、クルーズ船の寄港回数さらなる増加、航空路線においては那覇-釜山便の再開(3/31～)、那覇-バンコク便(4/2～)の新規就航が予定されていることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】4月に宜野湾市で開催される琉球海炎祭を組み込んだツアーが各旅行会社から販売され完売
  - ▶【北京】12月の北京-沖縄路線再開により、FIT客向けのオプション商品や小団体向けのオーダーメイド商品を始めた沖縄観光商品が販売された。
  - ▶【香港】あぐー、刺身御膳等を楽しむ美食ツアーやイースター連休(3/29～4/1)向けの沖縄ツアー商品が販売された。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	52,000人	15,900人	+36,100人	+227.0%	43.2%
韓国	28,700人	20,000人	+8,700人	+43.5%	23.8%
中国本土	10,500人	200人	+10,300人	+5150.0%	8.7%
香港	11,400人	7,200人	+4,200人	+58.3%	9.5%
アメリカ	1,600人	600人	+1,000人	+166.7%	1.3%
タイ	500人	100人	+400人	+400.0%	0.4%
シンガポール	1,400人	100人	+1,300人	+1300.0%	1.2%
その他	14,300人	700人	+13,600人	+1942.9%	11.9%
合計	120,400人	44,800人	+75,600人	+168.8%	100.0%

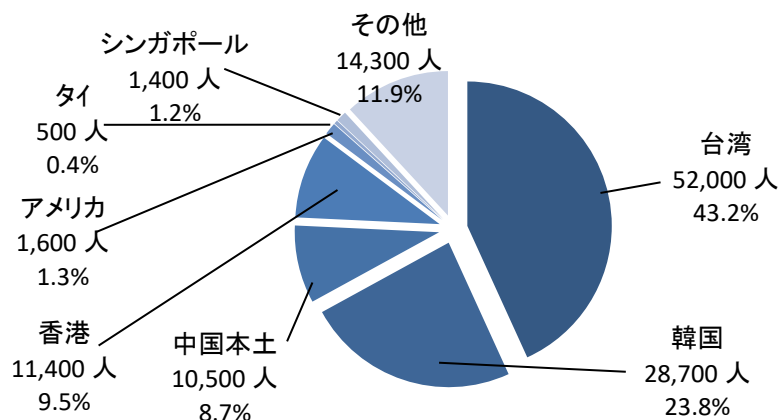
※「その他」には、海路における乗務員等10,900人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	43,600人	15,900人	+174.2%	46.9%	8,400人	0人	皆増	30.5%
韓国	27,500人	20,000人	+37.5%	29.6%	1,200人	0人	皆増	4.4%
中国本土	5,700人	200人	+2750.0%	6.1%	4,800人	0人	皆増	17.5%
香港	10,000人	7,200人	+38.9%	10.8%	1,400人	0人	皆増	5.1%
アメリカ	1,200人	600人	+100.0%	1.3%	400人	0人	皆増	1.5%
タイ	500人	100人	+400.0%	0.5%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	1,400人	100人	+1300.0%	1.5%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,000人	700人	+328.6%	3.2%	11,300人	0人	皆増	41.1%
合計	92,900人	44,800人	+107.4%	100.0%	27,500人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等10,900人を含む

## 外国客の地域構成比



# 令和6年（2024）2月 入域観光客数概況（確定版）

71万9,200人

対前年（R5）同月比 +12万1,300人、+20.3%  
～2月としては復帰後2番目、対前年同月比で27ヶ月連続の増加～  
※（H31）同月比 ▲5万3,000人、▲6.9%

【更新履歴】①令和6年3月25日速報版公表

②令和6年5月27日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、5月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

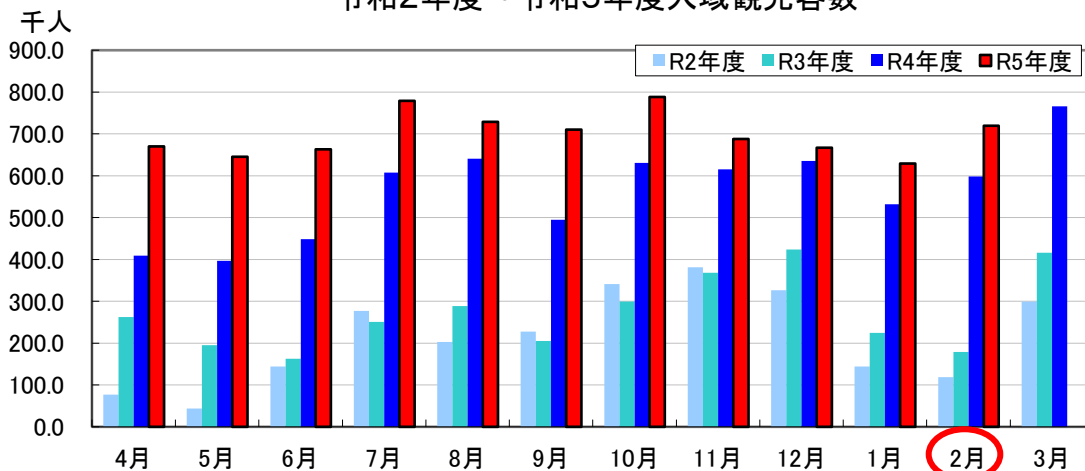
## 入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	574,400人	554,500人	+19,900人	+3.6%	79.9%
外国客	144,800人	43,400人	+101,400人	+233.6%	20.1%
合計	719,200人	597,900人	+121,300人	+20.3%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等18,700人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

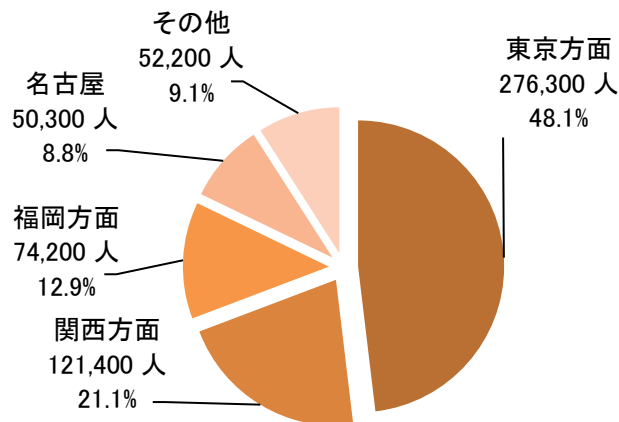
2月は、前年同月に対し3連休が2回あったほか、同月に7回実施された那覇発着フライ&クルーズや、プロ野球キャンプ見学、4年ぶりの開催となったおきなわマラソン等の各種イベント、航空会社による地方発着チャーター便等により、前年同月及びコロナ禍前の平成31年同月を上回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	276,300 人	268,400 人	+ 7,900 人	+ 2.9%	48.1%
関西方面	121,400 人	118,800 人	+ 2,600 人	+ 2.2%	21.1%
福岡方面	74,200 人	68,600 人	+ 5,600 人	+ 8.2%	12.9%
名古屋	50,300 人	51,300 人	△ 1,000 人	△ 1.9%	8.8%
その他	52,200 人	47,400 人	+ 4,800 人	+ 10.1%	9.1%
合計	574,400 人	554,500 人	+ 19,900 人	+ 3.6%	100.0%

※国内海路客1,600人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

2月は、2度の3連休や那覇発着フライ&クルーズ、プロ野球キャンプ見学等のイベントにより、前年同月及び平成31年同月を上回った。

### 関西

2月は、2度の3連休や那覇発着フライ&クルーズ、プロ野球キャンプ見学等のイベントにより、前年同月及び平成31年同月を上回った。

### 福岡

2月は、2度の3連休や那覇発着フライ&クルーズ、プロ野球キャンプ見学等のイベントにより、前年同月及び平成31年同月を上回った。

### 名古屋

2月は、2度の3連休や那覇発着フライ&クルーズ、プロ野球キャンプ見学等のイベントにより平成31年同月を上回ったものの、前年同月に対しては僅かに下回った(△1.9%)。

## 外国客 入域状況

2月は、クルーズ船寄港回数が増加したこと、春節による旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

3月以降については、イースター連休、清明節等による旅行需要が期待できるほか、那覇ー釜山便(3/31～)の再開、那覇ーバンコク便(4/2～)、下地ー仁川便(5/29～)の新規就航により回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】南城市の温泉付きホテル宿泊と泡盛の酒造所見学をセットにしたツアー商品が好評
  - ▶【上海】国営旅行会社が4/14～、5/6～の4泊5日沖縄団体旅行商品を4年ぶりにTVショッピングで発売
  - ▶【香港】夏休みに向けて、チームラボ学ぶ！未来の遊園地(DFS)や沖縄こどもの国、紅型体験等の沖縄ツアー商品が販売開始

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	57,900人	16,900人	+41,000人	+242.6%	40.0%
韓国	26,600人	19,700人	+6,900人	+35.0%	18.4%
中国本土	16,600人	100人	+16,500人	+16500.0%	11.5%
香港	13,900人	4,900人	+9,000人	+183.7%	9.6%
アメリカ	4,100人	600人	+3,500人	+583.3%	2.8%
タイ	400人	100人	+300人	+300.0%	0.3%
シンガポール	1,300人	200人	+1,100人	+550.0%	0.9%
その他	24,000人	900人	+23,100人	+2566.7%	16.6%
合計	144,800人	43,400人	+101,400人	+233.6%	100.0%

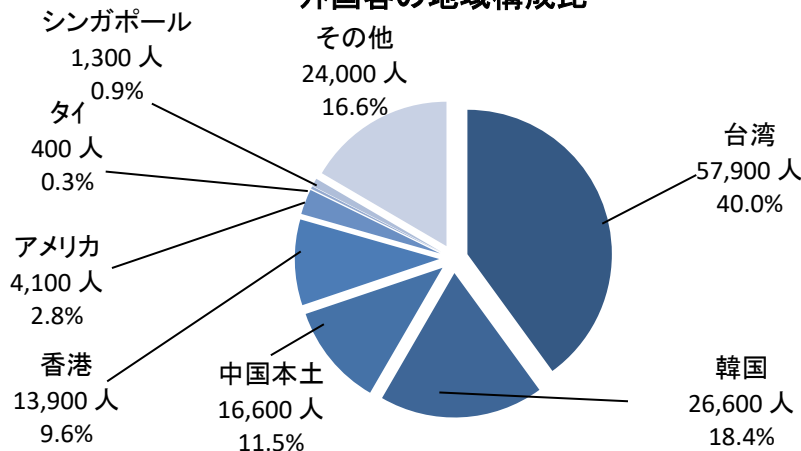
※「その他」には、海路における乗務員等18,700人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	44,700人	16,900人	+164.5%	47.4%	13,200人	0人	皆増	26.2%
韓国	25,400人	19,700人	+28.9%	26.9%	1,200人	0人	皆増	2.4%
中国本土	8,000人	100人	+7900.0%	8.5%	8,600人	0人	皆増	17.1%
香港	10,300人	4,900人	+110.2%	10.9%	3,600人	0人	皆増	7.1%
アメリカ	1,600人	600人	+166.7%	1.7%	2,500人	0人	皆増	5.0%
タイ	300人	100人	+200.0%	0.3%	100人	0人	皆増	0.2%
シンガポール	1,300人	200人	+550.0%	1.4%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,800人	900人	+211.1%	3.0%	21,200人	0人	皆増	42.1%
合計	94,400人	43,400人	+117.5%	100.0%	50,400人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等18,700人を含む。

外国客の地域構成比





# 令和6年（2024）3月 入域観光客数概況（確定版）

84万5,100人

対前年（R5）同月比 +7万8,900人、+10.3%

～3月としては復帰後2番目、対前年同月比で28ヶ月連続の増加～

※（H31）同月比 ▲3万8,900人、▲4.4%

【更新履歴】①令和6年4月25日速報版公表

②令和6年6月25日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、6月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

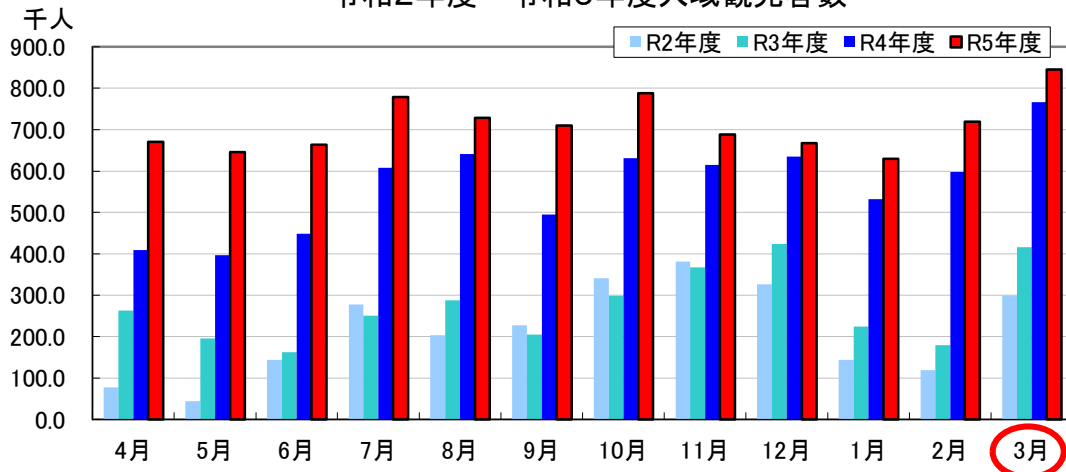
## 入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	681,000人	702,000人	△21,000人	△3.0%	80.6%
外国客	164,100人	64,200人	+99,900人	+155.6%	19.4%
合計	845,100人	766,200人	+78,900人	+10.3%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等21,100人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

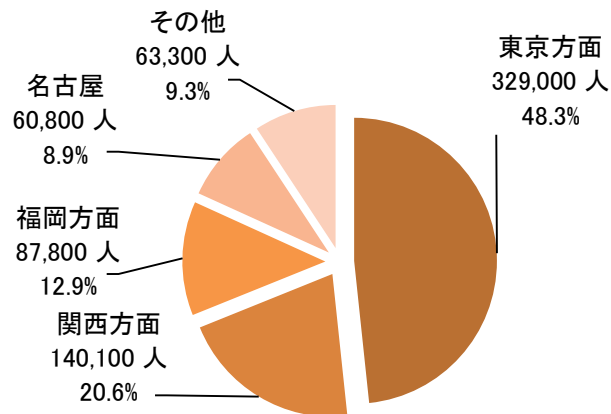
3月は、春休みの旅行需要に対する航空会社の臨時便、増便、季節運航、地方発着チャーター便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	329,000 人	335,000 人	△ 6,000 人	△ 1.8%	48.3%
関西方面	140,100 人	156,500 人	△ 16,400 人	△ 10.5%	20.6%
福岡方面	87,800 人	86,900 人	+ 900 人	+ 1.0%	12.9%
名古屋	60,800 人	66,100 人	△ 5,300 人	△ 8.0%	8.9%
その他	63,300 人	57,500 人	+ 5,800 人	+ 10.1%	9.3%
合計	681,000 人	702,000 人	△ 21,000 人	△ 3.0%	100.0%

※国内海路客2,900人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

3月は、春休みの旅行需要に対する航空会社の臨時便等により平成31年同月を上回ったものの、前年同月を下回った。

### 関西

3月は、春休みの旅行需要に対する航空会社の増便等により平成31年同月を上回ったものの、前年同月を僅かに下回った。

### 福岡

3月は、春休みの旅行需要等により前年同月及び平成31年同月を上回った。

### 名古屋

3月は、春休みの旅行需要に対する航空会社の季節運航(名古屋－宮古/石垣)等により平成31年同月を上回ったものの、前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

3月は、航空会社による「釜山-那覇」路線の復便等があったこと、クルーズ船の寄港回数が増加したこと、企業によるインセンティブ旅行等により、外国客数は堅調に推移した。

4月以降については、清明節、労働節、端午節等による旅行需要が期待できるほか、那覇-バンコク便(4/2～)、下地-仁川便(5/29～)、那覇-台北便(6/15～)の新規就航が予定されていること等から回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【韓国】忠清圏初の国際クルーズ船(コスタセレーナ号)が5月8日に運航開始  
瑞山市(ソサン市)大山港を出発し、沖縄、台湾など東アジアの寄港地を経て釜山港に入港する。
  - ▶【タイ】5月～9月頃までは海外旅行ローシーズンとなるが、那覇-バンコク便の新規就航に伴う現地旅行会社催行のツアーは比較的好調な売れ行き。

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	59,200人	22,400人	+36,800人	+164.3%	36.1%
韓国	23,000人	17,400人	+5,600人	+32.2%	14.0%
中国本土	18,700人	400人	+18,300人	+4575.0%	11.4%
香港	15,200人	6,700人	+8,500人	+126.9%	9.3%
アメリカ	8,900人	3,800人	+5,100人	+134.2%	5.4%
タイ	600人	1,000人	△400人	△40.0%	0.4%
シンガポール	1,600人	300人	+1,300人	+433.3%	1.0%
その他	36,900人	12,200人	+24,700人	+202.5%	22.5%
合計	164,100人	64,200人	+99,900人	+155.6%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等21,100人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	45,900人	22,200人	+106.8%	47.5%	13,300人	200人	+6550.0%	19.7%
韓国	22,600人	17,400人	+29.9%	23.4%	400人	0人	皆増	0.6%
中国本土	6,000人	400人	+1400.0%	6.2%	12,700人	0人	皆増	18.8%
香港	13,700人	6,700人	+104.5%	14.2%	1,500人	0人	皆増	2.2%
アメリカ	2,200人	1,300人	+69.2%	2.3%	6,700人	2,500人	168.0%	9.9%
タイ	400人	1,000人	△60.0%	0.4%	200人	0人	皆増	0.3%
シンガポール	1,500人	300人	+400.0%	1.6%	100人	0人	皆増	0.1%
その他	4,400人	1,800人	+144.4%	4.6%	32,500人	10,400人	+212.5%	48.2%
合計	96,700人	51,100人	+89.2%	100.0%	67,400人	13,100人	+414.5%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等21,100人を含む

### 外国客の地域構成比

